

DATE: \_\_\_\_\_

**ゆめづくり事例集**  
**2015**

**編集：呉市**

まちづくり活動に積極的に取り組まれている地域の皆さんの活動状況をまとめた「ゆめづくり事例集」。2012年から始まり、今回、4冊目の2015をお届けします。

それぞれのまちづくり委員会等において、特色ある資源を活かした地域の活性化や、地域の皆さんが抱える課題の解決に向けて、何をしたらいいか、また、どのように工夫すればいいかなど、地域の皆さん自身が考え、行動されている様子を紹介しています。

地域の皆さんの手で育まれ、さらに地域の絆が強まるとともに、より一層、様々な広がりを見せているこれらの事例をご覧いただき、自分たちの取組と比べてみたり、新しい取組を考える際のヒントにしたりと、大いに活用していただければと思います。

## ゆめづくり事例集2015 目次

No	事業名	団体名
1	第14回 みずとひ祭り	第2地区まちづくり委員会
2	ふれあい朝市	第2地区まちづくり委員会
3	休山登山道の整備&シイタケ栽培	第2地区まちづくり委員会
4	第3地区住民親睦日帰りツアー	第3地区まちづくり委員会
5	第3地区冬まつり	第3地区まちづくり委員会
6	Good-bye2015昔遊び・餅つきで育む地域 ・世代間交流フェスタ	第2地区, 第3地区まちづくり委員会
7	長迫公園(旧海軍墓地)清掃	第4地区まちづくり委員会
8	防犯パトロール大会	第4地区まちづくり委員会
9	区域内防災訓練と防災備品整備	第5地区まちづくり委員会
10	第2音戸大橋散策, 大和ミュージアム ・鉄のくじら館研修バスツアー	第5地区まちづくり委員会
11	わくわく子育てサロン	第5地区まちづくり委員会
12	明立小学校区合同防災・防火訓練	第4地区, 第5区まちづくり委員会
13	荘山田自然公園プロジェクト	第6地区まちづくり委員会
14	合同防災訓練	第6地区まちづくり委員会
15	第6回 くれ中央夏まつり(くれ絆盆踊り大会)	くれ中央地区まちづくり委員会
16	第6回 まるごと・中央地区ウォーキング大会	くれ中央地区まちづくり委員会
17	荘山田小学校区合同防災・防火訓練	第5地区, くれ中央地区まちづくり委員会
18	第2地区・第3地区・第5地区・中央地区 合同敬老会	第2地区・第3地区・第5地区 ・中央地区社会福祉協議会
19	ふれあいまつり(夏まつり・盆踊り)	第8地区まちづくり委員会
20	とんど祭り	第8地区まちづくり委員会
21	ふれあい広場三条運営事業	三条地区まちづくり委員会
22	八畳岩登山(登山道整備, 登山)	三条地区まちづくり委員会
23	川原石地区盆踊り大会	川原石地区まちづくり委員会

No	事業名	団体名
24	川原石地区防災訓練	川原石地区まちづくり委員会
25	中央地域成人式	中央地域成人式実行委員会
26	第25回 詩歌創作大会	吉浦まちづくり委員会
27	第10回 吉浦地区防災訓練	吉浦まちづくり委員会
28	よし浦まちづくり発見隊 フィールドワーク in 庄原	吉浦まちづくり委員会
29	第19回 警固屋さくら祭	警固屋まちづくり協議会
30	子ども避難体験事業	警固屋まちづくり協議会
31	まちづくり若者提案事業	阿賀まちづくり推進協議会
32	阿賀まち銘板事業	阿賀まちづくり推進協議会
33	今昔子どもふれあい大会	阿賀まちづくり推進協議会
34	第42回 広子ども祭	広まちづくり推進協議会
35	第67回 広地区教育祭	広まちづくり推進協議会
36	第12回 広地区クリーン活動	広まちづくり推進協議会
37	仁方地区自主防災会合同避難訓練	仁方町まちづくり推進協議会
38	仁方夏まつり	仁方町まちづくり推進協議会
39	仁方の福祉を考える会	仁方町まちづくり推進協議会
40	「春が楽しみ！チューリップ」事業	仁方町まちづくり推進協議会
41	宮原夢いっぱいフェスタ！	宮原地区まちづくり推進委員会
42	「宮原ホタルの里」の整備	宮原地区まちづくり推進委員会
43	宮原地区合同防災訓練	宮原地区まちづくり推進委員会
44	「笹酒まつり」と「もちつき大会」	天応地区社会福祉協議会/天応まちづくり委員会
45	天応町納涼盆踊り大会	天応まちづくり委員会
46	鯉のぼりの吹き流し	天応まちづくり委員会






No	事業名	団体名
47	第10回 昭和地区ふれあいフェスティバル	昭和地区まちづくり協議会
48	平成28年昭和地区「成人の日」記念式典・記念行事	昭和地区まちづくり協議会
49	郷原町盆踊り大会	郷原町まちづくり推進委員会
50	ふれあい・いきいきサロン	郷原町まちづくり推進委員会
51	第1回 とびしマーレ	一般社団法人下蒲刈まちづくり協議会
52	いいところいっぱいじゃけえ かわじりMAPウォーク	呉市川尻町まちづくり委員会
53	川尻町新成人を祝う会	川尻町新成人を祝う会実行委員会
54	川尻町敬老会	川尻町地区社会福祉協議会
55	かわじり元気まつり	川尻町元気まつり実行委員会
56	2015おんどフェスティバル	音戸町まちづくり協議会
57	トワイライトふれあいフェスタ	音戸町まちづくり協議会
58	第4回 島コンin倉橋（広島県最南端で見つける恋）	宝島くらはしまちづくり協議会 お宝婚活部会
59	くらはし お宝朝市	宝島くらはしまちづくり協議会 お宝朝市部会
60	第15回 かまがり恵みフェア	蒲刈町まちづくり協議会
61	安浦新ええとこ祭り	安浦町まちづくり協議会
62	後生に残す「まちしるべ石碑」事業	安浦町まちづくり協議会
63	アイラブ呉線「鉄道のある風景」フォトコンテスト	呉線全通記念事業安川実行委員会
64	伝統的料理の教室	豊浜町まちづくり協議会
65	ビューティフルアイランド祭り	豊浜町まちづくり協議会
66	第11回 豊町産業文化祭	豊町まちづくり協議会
67	豊町七夕納涼祭	豊町まちづくり協議会
68	豊町町民運動会	豊町まちづくり協議会

番号	1	団体名	第2地区まちづくり委員会	代表者	城 健康
事業名	第14回 みずとひ祭り			事業費	約237,000円
事業の目的	<p>第2地区まちづくり委員会では、人と人のふれあいを大切に、活力あるまちづくりに資することを目的として、みずとひ祭り・文化交流会・ふれあい朝市などを実施してきました。その中でも夏に行われる「みずとひ祭り」は、子どもから高齢者まで、地域をあげて多くの人が参加するビッグイベントとして定着しました。今後も、地域内外から多くの人が参加し、人と人のつながりや交流が広がるよう、内容を充実させることが必要だと考えています。</p>				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日時 平成27年8月14日(金) 午後5時30分～午後9時</li> <li>・場所 和庄小学校校庭</li> <li>・内容 小学生以下を対象としたジャンケン大会 お楽しみ抽選会 和庄中学校及び清水ヶ丘高校吹奏楽部の演奏 盆踊り 神楽の鑑賞 地域の人たちによる模擬店(焼き鳥, 焼きそば, かき氷, 綿菓子他)</li> <li>・来場者 約1,000名</li> </ul>				
この事業を企画・実施した人	<p>第2地区まちづくり計画の大きな柱の一つである「わいわい地域交流」活動の一環として、女性会や民生委員等と話し合いながら企画立案しました。地域ボランティアの多数の参加もあり、地域全体で盛り上がるイベントにしました。</p>				
苦労した点	<p>地域の担い手の高齢化に伴い準備が大変だったが、和庄中学校の生徒約70名がボランティアとして手伝ってくれたおかげで助かりました。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>会場の様子</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>屋台の様子</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>盆踊りの様子</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>神楽の観賞</p> </div> </div>				

番号	2	団体名	第2地区まちづくり委員会	代表者	城 健康
事業名	ふれあい朝市			事業費	約160,000円
事業の目的	市町村合併を契機に地域内、地域間交流を目的に始めたふれあい朝市も今回で10回目を迎えました。現在では、多くの来場者で賑わうなど、夏はみずとひ祭り、冬はふれあい朝市と呼ばれるほど、区内を代表するイベントとして定着し、地域の活性化に貢献しています。ふれあい朝市では、至る所であいさつや世間話を楽しむ光景が見られます。中には、朝市のおかげで、しばらく会っていなかった人に再会し話しができた方もおられます。今では、地区外から参加される方も多く、新たな交流が生まれています。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日時 平成27年3月15日(日) 8:30~11:30</li> <li>・場所 本通第3公園(元町公園)</li> <li>・内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ボランティアがつくった物品の販売 (もち かき飯 たらい寿し たこ焼き コロッケ, 清水谷名水コーヒー等)</li> <li>・協力地域からの農産物(かんきつ類)等の販売 (倉橋, 下蒲刈)</li> <li>・健康増進課による健康づくりコーナーの設置 (血圧測定, 健康相談及び減塩豚汁の炊き出し)</li> </ul> </li> <li>・来場者 約850名</li> </ul>				
この事業を企画・実施した人	・第2地区まちづくり計画の大きな柱の一つである「わいわい地域交流」活動の一環として、女性会、民生委員、地域ボランティア等と話し合いながら企画立案しました。夏に行われる「みずとひ祭り」と同じように、地域全体で盛り上がるイベントにしました。				
苦勞した点	特にありません				
活動状況	  <p style="text-align: center;">ふれあい朝市の様子</p>   <p style="text-align: center;">ふれあい朝市の様子</p>				



番号	3	団体名	第2地区まちづくり委員会	代表者	城 健康
事業名	休山登山道の整備&シイタケ栽培			事業費	約15,000円
事業の目的	<p>第2地区のシンボルである休山への登山道。かつて休山登山道の入口にある清水谷は、その名の通り清水が湧き出ていました。しかし、土石流などで水汲み場は壊れ、いつのまにか湧き水のことを知る者も少なくなりました。</p> <p>そこで平成22年に登山道整備にあわせて、この名水を復活させました。今では、登山者用休憩所、水飲み場及び地域住民の憩いの場として利用されています。今後は、登山道(尾根道の出会いまで)の整備、登山道沿いの植樹及び休憩所(竹風庵)の維持管理を行います。また、名水の水質管理及び周辺清掃、さらに、地元の小学生の自然観察・環境学習の場所として「シイタケ栽培」が軌道に乗り毎年収穫することが可能になれば、学校に紹介し学習に活用してもらいたいと思い、この事業を継続しています。</p>				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日時 平成22年4月から継続中</li> <li>・場所 休山登山道とその周辺</li> <li>・内容 平成22年度:地域の力で、案内板の整備や登山道の倒木の撤去などを実施</li> <li>平成23年度:休山登山道の植樹, 自然観察の教材づくり(シイタケのホダ木作り)</li> <li>平成24年度:休山登山道沿いの整備と桧垣川の清掃, 桧垣川上流部の清掃とシイタケホダ木の設置</li> <li>平成25年度:シイタケ栽培研修 シイタケホダ木(200本)菌打ち込み 清水谷名水整備</li> <li>平成26年度:周辺清掃 除草 ホダ木本伏せ そーめん流し ウォーキング おでん祭り 収穫したシイタケをボランティアメンバーに15回に分けて配布した。</li> <li>平成27年度:平成27年11月20日(金)11:30~12:00 市長ふれあいまち巡り実施 椎茸栽培・防災ダム視察 第2地区まちづくり委員会の取り組みを市長に説明 試食・意見交換</li> </ul>				
この事業を企画・実施した人	第2地区まちづくり委員会が「地域の特色を生かした元気なまちづくり」を目標に、長期的な計画を立てました。第2地区の自治会長とともに民生委員や、地元小学校のPTAとの協力の中で生み出された計画です。				
苦勞した点	イノシシ対策				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>事前打ち合わせ</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>椎茸栽培について説明</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>整備した井戸について説明</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>地域の取り組みについて懇談</p> </div> </div>				

番号	4	団体名	第3地区まちづくり委員会	代表者	齊藤 晴彦
事業名	第3地区住民親睦日帰りツアー			事業費	約350,000円
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民の交流を図り、結びつきを強める。(世代間交流も含む。)</li> <li>・地域活動の担い手を発掘する。</li> <li>・地域の子どもは地域が育てる意識を醸成する。</li> </ul>				
事業概要	<p>【日 程】平成27年9月23日(祝)【平成19年度から毎年12月上旬頃に実施】</p> <p>【行き先】防府市内(マツダ防府工場・防府天満宮・潮彩市場防府)</p> <p>【対象者】地域の子どもからお年寄りまで毎年100~180名程度 平成27年度は、102名参加(うち子どもは10名)</p> <p>【内 容】第3地区内の住民間の親睦を深めるため、今年度も住民親睦日帰りツアーを実施しました。マツダ防府工場では、自動車の組み立てやトランスミッションの製造過程などを見学しました。モノづくりの現場を肌で体感することができる工場見学を通して、車に対する関心が高まるなど、大人も子どもも勉強になりました。その後、防府天満宮で参拝、潮彩市場防府で買い物を楽しむなど、参加者同志の親睦が深まりました。</p>				
この事業を企画・実施した人	まちづくり委員会 「ふれあい」のあるまちづくり部会				
苦勞した点	<p>当初は8月25日(火)に計画していましたが、台風接近に伴い9月23日(祝)に延期しました。祝日ということもありバスの確保が大変でした。</p> <p>マツダ防府工場の見学では、見学時の写真撮影が禁止され、集合写真撮影を希望した場合のみ指定された場所での撮影が許されるなど受け入れ条件が厳しかった。</p>				
活動状況	 <p>2015/9/23 11:28</p> <p>指定された場所(総務事務所)での写真撮影</p>  <p>2015/9/23 14:29</p> <p>防府天満宮で参拝</p>				







番号	5	団体名	第3地区まちづくり委員会	代表者	齊藤 晴彦
事業名	第3地区冬まつり			事業費	約350,000円
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民の交流を図り、絆を強める。(世代間交流も含む。)</li> <li>・伝統文化の継承</li> <li>・子どもの健全育成</li> <li>・防災訓練を兼ねた冬まつりを実施することにより、安全安心なまちづくりについて考える。</li> </ul>				
事業概要	<p>【日 時】平成28年2月7日(日)9:00~12:00  【場 所】本通小学校グラウンド  【内 容】  平成22年度に、30年ぶりの復活を果たした、「とんど焼き」を中心とした、地域の子どもと大人が交流できる事業で、今年が6回目にあたります。  とんど焼きの他に、防災訓練、交通安全教室、もちつき大会、大人と子どもの遊び、ものづくり教室、本通小児童による模擬店(呉モンポップコーンの特価販売)など、盛りだくさんな内容となっています。  ものづくり教室、パン食い競争、もち焼きなど、子ども達が楽しむ姿が印象的でした。  【参加者】約700名</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>【企画】まちづくり委員会 地域文化の伝承部会  【実施】第3地区自治会連合会・本通小学校・PTA・ソフトボール同好会・地区子ども会  和庄中学校有志・呉警察署・呉市消防局西消防署・呉市消防団呉東地区隊本通分団  第3地区内の商業振興部会・地域内外の有志・呉市</p>				
苦労した点	<p>とんど設計・製作及び材料集め  警察、消防及び各種団体との連携・調整  とんどの焼却灰の処理</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>一週間前にとんど組み立て</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>燃え上がるとんどを見守る人々</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>防災訓練</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>もちつき大会</p> </div> </div>				

番号	6	団体名	第2地区, 第3地区まちづくり委員会	代表者	城 健康, 齊藤 晴彦
事業名	Good-bye2015昔遊び・餅つきで育む地域・世代間交流フェスタ			事業費	300,171円
事業の目的	<p>近年, 子どもを取り巻く地域・社会環境は, 事件・事故等多くの課題を抱えています。子どもにとって安全・安心なまちづくりを実現するためには, 地域の絆を深めるとともに, 地域ぐるみで児童の健全育成活動を推進する必要があります。その活動の一つとして, 和庄小学校を通学区域とする子ども達が地域の人と一緒に正月の伝統的な「昔遊び・もちつき」を体験し, 地域の異世代の人々と交流を持つことにより, 地域の人と顔なじみになり, 日頃の挨拶も活発に行われるなど, 子どもを取り巻く環境や安全に対する住民の意識も高まるものと考えられます。祖父母→お父さん・お母さん→お孫さんと次世代への伝統文化の継承及び地域・世代間の交流を通して, 高齢者が生き甲斐を持ち地域社会に貢献するとともに, 子ども達も地域文化に目覚め, 地域の人々と豊かな関係性を持って成長することを目指します。なお, 今年度は, バケツ稲栽培を通して, 自分たちが手塩にかけて育てあげ, 収穫したもち米を一部使用して作った紅白もちを参加者に配ります。</p>				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日 時 平成27年12月28日(月) 9:00~12:30</li> <li>・場 所 和庄小学校校庭</li> <li>・内 容 <b>昔遊び体験コーナー</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こま回し, けん玉, 凧揚げ及びお手玉の4つのコーナーを設け, 子ども達が地域の方に教えてもらいながら昔遊びを一緒に体験します。</li> </ul> </li> <li><b>ふれあいもちつき大会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・杵でのもちつきや足踏み式もちつきを体験します。</li> <li>・つきたての餅をぜんざいにしたり, きな粉やしょうゆをつけて食べます。</li> <li>・参加された方にはお土産としておもちを配布します。</li> <li>・この度は, バケツ稲栽培で収穫したもち米で作ったもちを食べたことにより, 子どもにとってもちができる過程を学ぶことができ, 農業や食育に対する関心を深めることができました。</li> </ul> </li> <li>・参加者 約300名</li> </ul>				
この事業を企画・実施した人	<p>事業を実施するため, 和庄小学校区合同「昔遊び」が育てる地域・世代間交流事業実行委員会を立ち上げました。第2地区まちづくり委員会の城会長を実行委員長に第3地区まちづくり委員会 瀧川理事を副委員長とし, 地域の共通課題(地域・世代間交流)解決に向けて, 双方のまちづくり委員会による19名の実行委員を中心に企画・実施しました。なお, 財源については, 市民ゆめ創造事業交付金(地域間連携推進事業)を充てました。</p>				
苦勞した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和庄小学校区の二つのまちづくり委員会相互の連絡調整</li> </ul>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>こま回し体験</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>子どものもちつき体験</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>ぜんざいの配膳</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>お土産におもちを配布</p> </div> </div>				



番号	7	団体名	第4地区まちづくり委員会	代表者	中塩 幸一
事業名	長迫公園(旧海軍墓地)清掃			事業費	60,522円
事業の目的	<p>長迫公園(旧海軍墓地)をお盆前に地区内の住民が清掃しています。</p> <p>戦後、荒れ果てていた旧海軍墓地を近隣住民が自主的にきれいにしていました。これまで約60年もの間、清掃活動を継続しています。清掃後は、参加者全員で慰霊祭壇に黙とうを捧げています。第4地区は範囲が広いですが、長迫公園から遠方の住民も参加しています。子ども会もラジオ体操の後にこの清掃活動に参加しており、地域の大切な行事として次世代にも引き継がれています。</p>				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日 時 平成27年8月12日(水) 午前6時50分 清掃開始 その後、慰霊祭壇に黙とう</li> <li>・場 所 長迫公園(旧海軍墓地)園内道路や水路を含む周辺一帯</li> <li>・参加者 50名(雨天のため、参加者は昨年の3分の1程度)</li> <li>・内 容 ・清掃 雨の中、参加者数人が公園内を清掃した。 参加者に清掃用の手袋を配布した。</li> <li>・黙とう 清掃後、慰霊祭壇に参加者が黙とうを捧げた。</li> </ul>				
この事業を企画・実施した人	第4地区自治会連合会とまちづくり委員会				
苦労した点	<p>早朝から雨が降り中止も検討しましたが、折角、長迫公園に足を運んだ方々に申し訳ないと思い実施しました。</p> <p>ラジオ体操を中止したため、昨年の3分の1程度の参加になりましたが、地域の観光スポットとしてきれいな公園づくりに微力ながら貢献でき達成感がありました。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>参加者受付</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>慰霊祭壇に黙とう</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>雨の中での清掃活動</p> </div> </div>				




番号	8	団体名	第4地区まちづくり委員会	代表者	中塩 幸一
事業名	防犯パトロール大会			事業費	186,655円
事業の目的	地域住民の犯罪予防に対する意識を喚起し、住民と関係機関が連携して犯罪のない地域社会を構築することを目的とし、年の瀬を迎える11月に、第4地区では防犯パトロール大会をまちづくり委員会の主催で実施しています。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日時 平成27年11月8日(日) 午前10時</li> <li>・場所 長迫小学校体育館</li> <li>・参加人数 320名</li> <li>・内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・当日雨天のため、防犯パレードは中止し、式典のみ体育館で行いました。</li> <li>・アトラクションが好評でした。 (東畑中学校のブラスバンド演奏 平原保育園児の太鼓演奏、遊戯)</li> <li>・平原保育園児による「ガンバロウ」の三唱</li> <li>・女性会より豚汁が振る舞われました。</li> </ul> </li> </ul>				
この事業を企画・実施した人	・まちづくり委員会内の地域の防犯・防災を担当する「安全部」が中心となって開催。地元女性会とも連携を取っています。				
苦勞した点	3年連続で天候不良のため防犯パレードを中止し、長迫小学校体育館で式典のみ行った。(天候不良のため、屋内で実施するか屋外で実施するか判断に苦勞した。) 前日から校庭にテントを張り、当日は女性会の皆さんが豚汁を振る舞ったが、雨が降り足元も悪く大変でした。				
活動状況	 <p style="text-align: center;">式典の様子</p>		 <p style="text-align: center;">東畑中学校ブラスバンド演奏</p>		
	 <p style="text-align: center;">平原保育園児のアトラクション</p>		 <p style="text-align: center;">女性会による豚汁の振る舞い</p>		

番号	9	団体名	第5地区まちづくり委員会	代表者	土本 敏明
事業名	区域内防災訓練と防災備品整備			事業費	約1,200,000円 (訓練, 備品合計)
事業の目的	<p>第5地区は、市内中心部から灰ヶ峰中腹にわたり南北に細長く広がる地域で、急峻な地形が複数の河川や谷などを形成しており、また急勾配で狭い道路も多く、災害時の避難や物資の搬送などに不安を抱えています。</p> <p>このような中、住民アンケートで最も関心の高かった「防災」に対する意識を高めるとともに、実際の災害時における行動を想定した「体感」シミュレーションを行うため、地域内を4ブロックに分けて総合防災訓練を行いました。</p>				
事業概要	地区	惣付地区	明立小学校区	荘山田小学校区	辰川・畝原地区
	日時	H27.6.21(日)	H27.12.22(火)	H28.1.7(木)	H28.3.6(日)予定
この事業を企画・実施した人	場所	惣付公園・ふれあい集会所	明立小学校	荘山田小学校	辰川会館
	参加者	約80名 幼小中学生, 地域住民	4地区まちづくり委員会との合同事業	中央地区まちづくり委員会との合同事業	
	内容	①②③④⑦	詳細は別シートで説明	詳細は別シートで説明	
	①消火訓練, ②搬送訓練, ③救命(AED)訓練, ④119番通報訓練, ⑤ロープ結索方法⑥煙中体験⑦講話(クイズ) ・防災用品収納倉庫:H23:4か所新設, 1か所改修(旧辰川小体育館下倉庫) H24:5か所新設 H25:2か所新設・1か所共用(4自治会は自治会で倉庫を設置済み), 炊き出し用釜2セット購入 H26:炊き出し用釜2セット, 大型扇風機10台, 発電機2台, 会議机29台購入 H27:大型ストーブ4台購入 →拠点避難所(明立小学校, 荘山田小学校, 辰川会館, 惣付ふれあい集会所), 準拠点避難所(第5地区集会所)に配備				
この事業を企画・実施した人	<p>まちづくり委員会内の「安心して住めるまちづくり部会」(メンバー13名)が企画し、各ブロックごとに、所属する自治会長が中心となって、会場準備や消防との調整、物品の準備、当日の運営などを行いました。</p>				
苦勞した点	<p>※子どもからお年寄りまで、地域に住む皆さんが参加できるよう、学校や幼稚園などと協力して実施できるよう調整しました。また、体験的プログラムを取り入れ、参加者に少しでも興味を持ってもらえるよう工夫しました。災害は、いつどこで起こるかわからないので、開催日時と場所を考えました。休日の午前だけでなく、始業式、終業式後に実施した箇所もあります。</p> <p>会場は、地域の防災拠点ごとに設定しました。特に小学校は重要で、校区が第5・第4地区にまたがっている「明立小」と、第5・中央地区にまたがっている「荘山田小」は、「学校区」という単位でまとまって訓練できるよう協働事業で実施しました。</p> <p>※これらの活動により、平成25年度中に全自治会に自主防災会が結成されました。防災用品は、自主防災会設立と同時に設置・購入計画をたて、数年間をかけて整備していきます。</p>				
活動状況					
	消防団による講話		地域住民による水消火器訓練		
					
	幼児による水消火器訓練		搬送方の訓練		



番号	10	団体名	第5地区まちづくり委員会	代表者	土本 敏明
事業名	第2音戸大橋散策, 大和ミュージアム・鉄のくじら館研修バスツアー			事業費	約250,000円
事業の目的	<p>第5地区内には2つ小学校があり、4つの学区にまたがっています。まちづくり委員会では、未来を担う子どもたちが、同じ地域で学区区の枠を超えて交流し、健やかに育つよう、交流の場や学びの場を作ることが大切であると考えました。そのため、地区内に住む幼児、小学生とその保護者、地域の皆さんを対象に、呉の歴史や地域ごとの特色を学び体験するバスツアーを計画、実施しています。</p> <p>27年度の目的地は音戸地区と大和ミュージアム・鉄のくじら館。音戸地区では、地元の皆さんにガイドしていただき、音戸の魅力を堪能することが出来ました。また、大和ミュージアム・鉄のくじら館には初めて入館した子どもも多く、身近にあるからこそなかなか行かない地元の魅力に感激でした。</p>				
事業概要	<p>日時 平成27年8月21日(金) 午前9時30分出発, 午後4時30分解散          参加者99名 (幼児・小学生52名, 保護者・関係者47名)          訪問先</p> <p>◎音戸地区散策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元ガイドの皆さんの解説を聞きながら、第2音戸大橋を渡り、音戸地区の古い町並みを散策しました。長距離を歩くのが難しい幼児は、日本一短い航路の渡し船に乗って、音戸の瀬戸を渡りました。おんど観光文化会館では、「音戸の舟唄」名人による歌唱指導を受けました。</li> <li>・昼食後、次の目的地「大和ミュージアム・鉄のくじら館」を見学し、戦艦大和の模型や潜水艦の艦内に子ども達は大喜びでした。</li> </ul>				
この事業を企画・実施した人	まちづくり委員会内の「未来へつなぐまちづくり部会」(メンバー13名)が企画し、見学先の選定や事前打ち合わせ、観光ボランティアとの調整、当日の運営などを行いました。				
苦勞した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世代間の交流が図られるような企画内容にするため、地区社会福祉協議会と協力して事業を実施しました。</li> <li>・充実したプログラムにしたいと考え、事前に現地に行き、受け入れ先の観光ボランティアと調整を行いました。</li> </ul>				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>第2音戸大橋散策中</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>日本一短い航路 音戸渡し船乗船体験</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>「音戸の舟唄」歌唱指導</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>大和ミュージアム館内見学</p> </div> </div>				

番号	11	団体名	第5地区まちづくり委員会	代表者	土本 敏明
事業名	わくわく子育てサロン			事業費	約30,000円
事業の目的	<p>第5地区まちづくり委員会では、まちづくり計画の5つの柱のひとつ「住んでいる人にやさしいまちづくり」を推進するため、部会を組織し、子どもから高齢者まで住んでいる人が多くの人と関わり合いが持てるような事業を実施しています。</p> <p>その中で、子どもたちが健やかに育ち、子育てに悩むお母さんが孤立しないよう、地域でサポートしようと「わくわく子育てサロン」を計画しました。年4回程度、山田福祉会館を会場に、毎回、育児・医療・安全など子育てに関するテーマを設定し、民生児童委員や市の担当者等の指導で、わきあいあいと楽しいひとときを過ごしてもらいたいと思っています。</p>				
事業概要	日時:H27. 2. 25(金) 場所:山田福祉会館 参加: 幼児17名, 保護者13名 内容: ・折り紙でひなかざり ・絵本のおみかたり ・ママと一緒に健康くれ体操 ・保健師さんの健康教室	日時:H27. 7. 3(金) 場所:惣付ふれあい集会所 参加: 幼児10名, 保護者8名 内容: ・七夕飾りづくり ・絵本のおみかたり ・はじめよう減塩生活 ・七夕のお遊戯会	日時:H27. 9. 25(金) 場所:山田福祉会館 参加: 幼児9名, 保護者9名 内容: ・お月見会 ・絵本のおみかたり ・おうたのきょうしつ ・赤ちゃんの健康相談	日時:H27. 12. 16(水) 場所:山田福祉会館 参加: 幼児35名, 保護者31名 内容: ・クリスマス会 ・絵本と紙芝居 ・折り紙づくり ・サンタさんからのプレゼント	
この事業を企画・実施した人	<p>まちづくり委員会内の「住んでいる人にやさしいまちづくり部会」(9名)のメンバーが、民生児童委員や地区社会福祉協議会と連携して広場を運営しています。</p>				
苦勞した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施にあたり、地区社会福祉協議会、民生児童委員協議会と協力して事業を実施しました。</li> <li>・サロンが行われる時だけでなく、地域に帰って日常生活を送る時に、お母さんと子どもが孤立しないための工夫が必要です。参加者同士・参加者と地域住民のふれあいを重視しています。</li> <li>・参加者が増加し、会場の山田福祉会館が手狭になっています。</li> </ul>				
活動状況	 <p>みんなで健康くれ体操</p>		 <p>楽しい紙芝居</p>		
	 <p>折り紙上手に折れたかな?</p>		 <p>七夕飾り取り付け中</p>		



番号	12	団体名	第4地区, 第5区まちづくり委員会	代表者	中塩幸一, 土本 敏明
事業名	明立小学校区合同防災・防火訓練			事業費	313,061円
事業の目的	<p>隣接する第4地区と第5地区は、互いに市内中心部から灰ヶ峰, 休山中腹に向け住宅が密集する地域にあります。急峻な地形が複数の河川や谷などを形成し、急勾配で狭い道路も多く、災害時の避難について同じ不安を抱えています。</p> <p>そんな中、「住民が連携・協働して防災に関する知識や技術の習得しよう」「地域にあった防災対策を考えよう」という地域防災意が高まってきました。その結果、明立小学校区を通学区とする住民が中心となり、「呉市市民ゆめ創造事業・地域間連携推進事業」により、2つのまちづくり委員会が合同して研究するための防災・防火訓練を実施することになりました。</p>				
事業概要	<p>日 時:平成27年12月22日(火)14:00~16:30 場 所:呉市立明立小学校 参加者:409名 実施主体:明立小学校合同防災・防火訓練実行委員会 内 容:・消防による救助訓練見学(緊急脱出) ・4グループに分かれ実地訓練 (ロープ結索法, 救急搬送法, 煙中体験, 応急手当法(AED)) ・炊き出し訓練 ・水消火器体験(幼児) ・避難誘導 ・防災研修(呉市土砂災害危険箇所マップについて)</p>				
この事業を企画・実施した人	この訓練を実施するため、「明立小学校合同防災・防災訓練実行委員会」を立ち上げました。会長 第5地区まちづくり委員会 土本会長, 副会長 第4区まちづくり委員会 中塩会長を中心に、双方のまちづくり委員会による21名の実行委員で企画・実施しました。				
苦労した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いきなり全体同士が連携するのでなく、テーマを絞り連携できるところから取組を行っています。</li> <li>・災害は、いつどこで起こるかかわからないので、開催日時と場所を考え、1学期の終業式後、子どもが一旦帰宅した日時に実施予定でしたが、台風直撃予報が発令されたため、急遽延期を決定し、2学期終了後に変更しました。</li> <li>・そのため、ポスター・回覧製作など準備の負担が増えましたが、地域住民・関係者の協力により、開催することが出来ました。</li> </ul>				
活動状況	 <p>救助訓練見学</p>		 <p>幼児による水消火器訓練</p>		
	 <p>ロープ結索方訓練</p>		 <p>防災研修の様子</p>		



番号	13	団体名	第6地区まちづくり委員会	代表者	藤本 勝彦
事業名	荘山田自然公園プロジェクト			事業費	毎年約100,000円
事業の目的	<p>・地域の遊休地整備を行い、かつてどこの地域でもあった「里山」の復活を目指すことで、自然の大切さを地域で共有する。</p> <p>・地域の宝として自ら整備することで、自然公園を大切に、子どもに自然を感じてもらい、世代間交流を図り、地域に愛着を持ってもらう。</p>				
事業概要	<p>環境保全活動や自然体験活動などを通じ、自然とふれあい、その大切さを地域内で共有する取り組みです。昔は田畑があり手入れされていたが、今は遊休地となっている土地を、眺望が素晴らしい隠れた地域の名所として復活させるため、自然公園として再整備を始めました。</p> <p>今年から公園手帳を作成。ボランティア等参加時に押印し、一定回数以上の参加者を表彰すること等で参加者増員を図っています。</p> <p>【場所】 江原地区一体の丘の上  【会議】 毎月第3木曜日  【現場整備】 毎月第4土曜日午前中  【イベント】 (春) 3月…「あなたの木は、元気かな?会Part4」 → 64名参加  (秋) 11月…「あなたの木は、元気かな?会Part5」 → 50名参加  イベントは、春・秋に毎年開催。  【広報】 毎月発行する地域コミュニティ紙「今ドキっかわらばん」に掲載。イベント過去参加者には、ハガキを郵送。</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>まちづくり委員会内の荘山田自然公園プロジェクトが中心となって企画立案するとともに、社会福祉法人かしの木や事業に賛同する人たちが協力して作業に当たりました。</p> <p>賛同する方々には、ボランティア登録をしてもらい、整備ボランティア時には真っ先に声をかけるようにしています。</p>				
苦勞した点	<p>・炎天下の中での作業 → 6月～9月は活動開始時間を早め、作業時間を短縮しました。</p> <p>・3年ごとの中期計画を立てて計画的に整備しています。</p> <p>・伸びる草木への対応 → 毎月定期的に会議と作業を行い、作業効率を高めました。</p> <p>・作業を継続的に行う難しさ → 半年に1回はイベントを開催しています。また、桜の開花時期が続くよう、およそ120本50種類の苗木を選んで植樹しました。</p> <p>・ボランティア・人材育成 → 住民に対するコミュニティ紙による広報や中学校生徒への呼びかけのほか、公園手帳を活用した参加促進も行っています。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>あなたの木は、元気な会の様子</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>樹木は順調に育ってます</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>桜の下で食べる昼食は格別です。</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>ボランティア多数参加者表彰</p> </div> </div>				



番号	14	団体名	第6地区まちづくり委員会	代表者	藤本 勝彦
事業名	合同防災訓練			事業費	約300,000円
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時における自助・共助の地域力を強化すること。</li> <li>・中学生に主体性をもって防災訓練に取り組んでもらうことなどで、地域の将来を担う人材を育成すること。</li> <li>・地区住民に避難場所の確認と意識付けを行うとともに、避難時の問題点の洗い出すことにより、有事の際に多くの命が助かるようにするため、住民の危機管理意識を育てること。</li> <li>・まちづくりの柱の一つに位置づけ、地域が一体となって、危機意識を持って取り組むことで、地域の一体感(絆)が生まれる事業にする。</li> </ul>				
事業概要	<p>【日時・場所】 平成27年11月27日(金)10:45~13:30 片山中学校</p> <p>【防災訓練の内容】 10時45分に震度6の地震があったことを想定して、地域内の幼・小・中・福祉施設・住民全ての人々が、地域の避難場所としての片山中学校に避難し、グラウンドで全員のアセスメント確認を行った。</p> <p>その後、グラウンドで、初期消火・煙中訓練、衛星電話での通話、消防局によるがれきに埋まった人の救助活動も行った。また、災害に備え飲料水100ケースを片山中学校内に備蓄するとともに、自治会等に配備した非常用発電機等の運用訓練も実施した。</p> <p>今回は、中学生による避難所開設訓練を実施し、避難人数を想定した避難所内の間仕切りを試行錯誤しながら段ボールで作成した。</p> <p>【防災アカデミー】 地域の将来を担う若い人材の育成を目指し、4年前から中学生をに防災訓練を実施している。今年11月の防災アカデミーと銘打って防災教育や防災新聞の発行に取り組んだ。これらの取組が評価され、片山中学校は今年度、文部科学大臣表彰を授与された。</p> <p>【防災協定】 まちづくり委員会では、平成24年に地元の藤三片山店と災害時の避難所としての敷地の一部使用や食糧等の優先的な購入等についての防災協定を締結している。</p>				
この事業を企画・実施した人	総勢約800人 第6地区まちづくり委員会 第6地区自治会連合会 片山中学校 荘山田小学校 至心幼稚園 社会福祉法人かしの木 社会福祉協議会 女性会 (株)藤三 西消防署 消防団呉中央分団 水道局 呉警察 NTT西日本 ウォンツ片山店				
苦勞した点	昨年より参加団体が増えたため、事前調整を十分に行った。 中学生に主体性をもってもらうよう工夫した。また、地域のリーダーには、当日の役割や動きの確認をするため、直前に再度、説明会を行った。				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>避難訓練</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>初期消火訓練</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>衛星電話での通話訓練</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>がれきに埋まった人の救出救助訓練</p> </div> </div>				

番号	15	団体名	くれ中央地区まちづくり委員会	代表者	中谷 一彦 木村 公一
事業名	第6回 くれ中央夏まつり(くれ絆盆踊り大会)			事業費	約1,200,000円
事業の目的	<p>中央地区には史跡や神社仏閣、伝統行事がないので、地区の祭りがなく、高齢者と若者・子どもの交流が少なくなっています。また、近年マンション等の住民は増えていますが、自治会に加入していない方も多いため、若い世代が地域行事に参加する機会が少なくなっています。</p> <p>このような中、交流と賑わいの場を創り出すとともに、地域の方の参加意識の向上を目指して、気軽に楽しく参加できるイベント「くれ中央地区夏まつり」を実施しています。</p> <p>なお、一昨年の第4回から、場所を体育館前の児童公園から、中央公園噴水西側に移し、ステージを組んで、呉市文化団体連合会民舞民謡部の方々等による「呉音頭」講習と「盆踊り大会」を盛大に開催しています。</p>				
事業概要	<p>日時 平成27年8月22日(土) 16:00~21:00 ※準備は13:00~, 後片付け終了は22:00</p> <p>場所 中央公園噴水西側</p> <p>内容 模擬店運営 かき氷, フライドポテト, たこ焼き, 焼きそば, フランクフルト, 焼き鳥, コロッケ, 唐揚げ, すぎやカレー, 飲み物(生ビール, 缶ビール, ジュース), 枝豆 こども広場運営 ヨーヨー釣り, スーパーボールすくい, ビンゴゲーム, お宝釣り, 輪投げ, コイン落とし, 水鉄砲, お楽しみ抽選会(うちわくじ) くれ絆盆踊り, 子ども花火, 神楽</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>まちづくり委員会内のコミュニティ推進部会と青少年育成部会が中心となって企画立案するとともに、他の部会と民生委員, 行政(市, 警察, 消防団), くれ絆盆踊り実行委員会などが協働して各ブースの設営, 運営に当たりました。</p>				
苦労した点	<p>一昨年から、会場を広げて模擬店・子供広場を工夫し、ステージを設営するなど地域の方々等総出で運営しています。ステージでは、地元ボーイスカウト・ガールスカウトによるブラスバンド、ジャズバンド、盆踊り大会などのほか、神楽の上演を行いました。年度当初から準備委員会を立ち上げ、タイム設定・進行に最後まで気を配りました。公園周辺に事前に立て看板を設置するなど、事前広報に努めました。</p>				
活動状況	 <p>夏祭り全景</p>		 <p>キッズコーナー風景</p>		
	 <p>呉音頭で盆踊り</p>		 <p>神楽上演(八岐大蛇)</p>		



番号	16	団体名	くれ中央地区まちづくり委員会	代表者	中谷 一彦
事業名	第6回 まるごと・中央地区ウォーキング大会			事業費	約40,000円
事業の目的	<p>中央地区は、駅に近いことから、市外へ通勤通学する方が多く、またオフィスビルも多いため、昼間人口と夜間人口の動きが激しくなっています。また、マンションが多く、共働き世帯も多いことから、人のつながりが希薄になっています。</p> <p>このような中、自治会加入者と未加入者、また地域内に住む方と地域内で働く方など、多くの方が交流し、楽しく健康づくりができるよう、「まるごと・中央地区ウォーキング大会」を実施しています。</p> <p>また、中央公園児童公園で、防災訓練炊き出しを行い、ウォーキングを終えて帰った参加者に、今年はいとんを提供し、疲れを癒やしました。</p>				
事業概要	<p>日時 平成27年5月23日(土) 午前9時～午後1時</p> <p>参加者 127名</p> <p>内容 ゆったり散策コース 1km 中央公園→二河公園グランド→往復→中央公園</p> <p>モデルコース(中央地区半周) 3.5km 中央公園→市役所→蔵本通→大和ミュージアム→二河川公園→二河川沿い→呉中央学園→中央公園</p> <p>健脚コース(中央地区一周) 6km 中央公園→弓道場→展望(案内板)→上井手道→西辰川→郷町→岩方通→中央公園</p> <p>※ ゴール後、中央公園で防災訓練(すいとん炊き出し)を実施</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>まちづくり委員会内の健康づくり部会(メンバー10人)が中心となって企画立案するとともに、他の4つの部会と民生委員、防犯パトロール隊、健康増進課職員(健康くれ体操)などが協働して運営に当たりました。</p>				
苦労した点	<p>今年は、まるごと中央地区と題して、中央地区を一週するコースを基本に設定しました。お年寄りや子どもの参加者が多く、交通量の多いまちなかのコースでの安全確保をしっかりと行うため、防犯パトロール隊を始め、まちづくり委員会メンバーが先導やコース管理などを行い、安心してウォーキングを行うことができるよう注意しました。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>中央公園に集合・受け付け</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>準備運動(健康くれ体操)</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>ゆったり散策コース(健康遊具体験)</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>防災訓練(すいとん炊き出し)</p> </div> </div>				

番号	17	団体名	第5地区、くれ中央地区まちづくり委員会	代表者	土本敏明, 中谷一彦
事業名	荘山田小学校区合同防災・防火訓練			事業費	303,788円
事業の目的	<p>第5地区は、市内中心部から灰ヶ峰中腹に向け住宅が密集する地域にあります。急峻な地形が複数の河川や谷などを形成し、急勾配で狭い道路も多く、災害時の避難について不安を抱えています。一方、中央地区は平坦な地形で土砂災害等の危険性は低い地域ですが、浸水被害の危険性がある地域です。</p> <p>そんな中、隣接地域に災害が発生した場合に対して、「住民が連携・協働して防災に関する知識や技術の習得しよう」「地域にあった防災対策を考えよう」という地域防災意識が高まってきました。その結果、荘山田小学校区を通学区とする住民が中心となり、「呉市市民ゆめ創造事業・地域間連携推進事業」により、2つのまちづくり委員会が合同して研究するための防災・防火訓練を実施することになりました。</p>				
事業概要	<p>日時：平成28年1月7日(木)14:00～16:30  場所：呉市立荘山田小学校  参加者：325名  実施主体：荘山田小学校合同防災・防火訓練実行委員会  内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防による救助訓練見学(一箇所吊り担架救出)</li> <li>・4グループに分かれ実地訓練(ロープ結索法、救急搬送法、煙中体験、応急手当法(AED))</li> <li>・炊き出し訓練　・水消火器体験(幼児)　・避難誘導</li> <li>・防災研修(呉市土砂災害危険箇所マップについて)</li> </ul> </p>				
この事業を企画・実施した人	<p>この訓練を実施するため、「荘山田小学校合同防災・防火訓練実行委員会」を立ち上げました。会長 第5地区まちづくり委員会 土本会長、副会長 くれ中央地区まちづくり委員会 中谷会長を中心に、双方のまちづくり委員会による15名の実行委員で企画・実施しました。</p>				
苦勞した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いきなり全体同士が連携するのではなく、テーマを絞り連携できるところから取組をはじめました。</li> <li>・災害は、いつどこで起こるかかわからないので、開催日時と場所を考えました。1学期の終業式後、子どもが一旦帰宅した日時で実施しました。</li> <li>・その結果、参加者は「そのとき地域に残った人で何ができるのか」と、問題意識をもって参加できました。</li> <li>・小学校の全面的な協力がなければ、この訓練は実施できませんでした。</li> </ul>				
活動状況	 <p>防災訓練開所式</p>		 <p>炊き出し訓練の様子</p>		
	 <p>救急法(心肺蘇生法・AED)体験</p>		 <p>煙中体験</p>		



番号	18	団体名	第2地区・第3地区・第5地区・中央地区 社会福祉協議会	代表者	土本 敏明 (平成27年度)
事業名	第2地区・第3地区・第5地区・中央地区 合同敬老会			事業費	1,500,000円
事業の目的	<p>高齢化の進展に伴い、お年寄りの数が増える一方、社会の大きな転換期にある中、お年寄り以外の地域の担い手を確保することが難しく、「お年寄りを祝う」ための敬老会を、単位自治会や地区自治会連合会・地区社会福祉協議会単位ごとに、「お年寄り以外の手で」開催することが難しくなっています。</p> <p>このような中、行事に係る事務の簡素化とイベント規模の維持・拡大、また地域間の交流・連携を図ることを目的として、平成21年度から、中央地域の複数の地区社会福祉協議会が「合同敬老会」を共同開催しています。</p>				
事業概要	<p>日時 平成27年9月12日(土) 13時～15時30分  場所 呉市文化ホール  来場者数 約1,350名  内容 【式典の部】司会:吉本みほこさん(第2地区)  【演芸の部】司会:仲摩 武二郎 会長(第5地区)  ・楽器演奏(呉市立和庄中学校吹奏楽部)  ・呉警察署講話(振り込め詐欺にご用心)  ・園児遊技1(ひかり幼稚園)  ・第2・第3・第5・中央地区合同100人コーラス  ・カスタネット演奏(スター 村上)  ・園児遊技2(救世軍呉保育所)  ・歩一歩体操(社会福祉協議会)  ・神楽鑑賞(大森神楽団「滝夜叉姫」)</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>第2地区・第3地区・第5地区・中央地区社会福祉協議会の会長が幹事役を持ち回り、会長及び役員、呉市(地域協働課)の協働により、6月から会議を重ねてイベント内容について協議しました。</p>				
苦労した点	<p>招待者にゆったりと楽しいひとときを過ごしていただけるよう、アトラクションの内容については毎年協議を重ねています。今回も、中学生による楽器演奏は感動的で、今回から2箇所を増やした園児遊戯の明るく懸命な遊戯には、大きな暖かい拍手が起こりました。メインの神楽は、しばし時間を忘れる程の熱演で人気の一つです。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>式典(主催者挨拶)</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>楽器演奏</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>合同コーラス</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>神楽鑑賞</p> </div> </div>				


番号	19	団体名	第8地区まちづくり委員会	代表者	中田 清和
事業名	ふれあいまつり(夏まつり・盆踊り)			事業費	250,000円
事業の目的	<p>今年度で第13回目を迎える「ふれあいまつり」には、地区内の各自治会が、おでんやカレーなどの夜店を出店している。また、子ども会による輪投げなどのゲームコーナー、そして、盆踊り(呉音頭)も行われ、地域が一体となって開催する第8地区の夏の風物詩となっています。</p> <p>ふれあいまつりによって、自治会等のコミュニティ組織の一層の活性化が図られるとともに、盆踊りや呉音頭を次世代に引き継ぐなど、地域の伝統文化の継承と世代間交流が促進されています。</p>				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日時 平成27年8月23日(日) 午後6時～午後8時30分</li> <li>・場所 二河川公園, 二河川河川敷</li> <li>・内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・夜店(二河川公園) カレー, おでん, 焼きそば, ジュース・かき氷, ビール, フランクフルト, フライドポテト, 枝豆, 焼き鳥 (メニューは同じだが, 毎年, 担当自治会がローテーションで変わる。)</li> <li>・ゲームコーナー(二河川河川敷) 輪投げ, ヨーヨー釣り, スーパーボールすくいなど(子ども無料)</li> <li>・盆踊り(二河川河川敷) 呉音頭にあわせて踊る。</li> </ul> </li> </ul>				
この事業を企画・実施した人	地区社会福祉協議会とまちづくり委員会が協力して実施 (子ども会, 呉音頭普及部会, 各自治会も参加)				
苦勞した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年, 夜店で出す食べ物などのメニューを各自治会がローテーションで担当するため, 材料の調達や準備などが毎年変わり, その対応に苦慮していたが, レシピ等を作成して次の自治会に引き継ぐことによって改善を図っています。</li> <li>・今年は, 周辺の夏祭りと同じ時間帯にならないよう調整して開催し, 多くお住民で賑わいました。</li> </ul>				
活動状況	 <p>「ふれあいまつり」のはじまり</p>		 <p>子どもゲームコーナー(無料)</p>		
	 <p>各自治会による夜店</p>		 <p>盆踊り</p>		



番号	20	団体名	第8地区まちづくり委員会	代表者	中田 清和
事業名	とんど祭り			事業費	
事業の目的	<p>心ふれあうまちづくりの推進のため、地区社会福祉協議会を中心に、地元青年団、消防団の協力によって、地区内の恒例伝統行事として毎年開催しています。</p> <p>市中心部では「とんど」を行っているところは少なく、第8地区では、近隣地区からもしめ飾りを燃やしたい人たちを受け入れており、中央地区全体の「とんど祭り」として広がりを見せています。</p>				
事業概要	<p>日時 平成28年1月17日(日) 午後0時～午後3時(点火は午後0時)</p> <p>場所 二河川公園, 二河川河川敷</p> <p>内容 ・とんど(二河川河川敷)</p> <p>青年団を中心に、ワラや竹などの材料を調達して、とんどの「やぐら」を組む。その年の干支(今年はさる年生まれの人)生まれの人たちによってとんどに点火。今年も、海外からの留学生や研修生(6か国33名)が参加し、日本の伝統文化を経験しました。(自分たちで書いた書き初めをとんどで燃やしたり、餅焼きや竹筒で暖めた「笹酒」を楽しみました。)</p> <p>・模擬店(二河川公園) 第8地区民生児童委員協議会が「ぜんざい」を振る舞う。</p>				
この事業を企画・実施した人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区社会福祉協議会, まちづくり委員会, 地区民生児童委員協議会, 青年団, 消防団など</li> </ul>				
苦勞した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・とんどの「やぐら」組みや材料の調達など。</li> <li>・特にとんどの「やぐら」組みは、青年団を中心にとんど実施前から多くの時間と人手をかけて組み上げています。</li> </ul>				
活動状況	 <p>とんどの全容</p>		 <p>字がうまくなるように書き初めを燃やします</p>		
	 <p>勢いよく燃え上がるとんど</p>		 <p>第8区民児協によるぜんざい</p>		

番号	21	団体名	三条地区まちづくり委員会	代表者	山上 文恵
事業名	ふれあい広場三条運営事業			事業費	約360,000円 (家賃補助等)
事業の目的	<p>誰もが気軽に集える「ふれあい広場」は、空き店舗を借受け平成24年9月に開所。まちづくり委員会が家賃を支出、整備や運営はすべてボランティアスタッフが当たる手作りの施設です。</p> <p>高齢者には、地域の中で人とつながり、安心して暮らしていくための「よりどころ」として利用され、放課後は子どもたちが集う、笑い声が絶えない場になっています。日常利用だけでなく季節のイベントも開催され、まちづくり計画に掲げた地域課題を解決するための各事業をこの広場で実施し、住んでよかった、いつまでも住み続けたい両城・三条地区にしていきたいと思っています。</p> <p><b>何よりもボランティアスタッフの皆さんが、いきいきとやりがいを感じ、楽しんで運営にあたっておられます。</b></p>				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場所 呉市三条2丁目15-20「毛系きくや」跡の空き店舗(平成24年9月8日オープン)</li> <li>・活動時間 毎週月曜日～土曜日(日曜・祝日は休所日)午前10時～午後4時30分</li> <li>・面積 (間口)3m×(奥行)12m＝約36㎡(約11坪) 家賃 3万円/月</li> <li>・利用料金 無料(お茶無料、コーヒー100円、かき氷100円(夏季限定)で提供) 誰でも無料で利用できる無料休憩所</li> <li>・運営体制 1日3人のボランティアにより運営(合計18人役/週)</li> <li>・メンバー 三条まちづくり委員会会員、各自治会関係者、民生児童委員、赤十字奉仕団会員、運動推進委員、一般住民など</li> <li>・利用実績 最近の利用人員 月平均 500人、一日平均 25人 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平日はお茶や弁当をいただきながらの気まぐれおしゃべり会</li> <li>・男性陣は囲碁・将棋のうで試し</li> <li>・放課後と土曜日は子供の居場所</li> <li>・イベント 4月 - お花見会</li> <li>6月 - 七夕飾りづくり</li> <li>7月 - 第2回 夏祭り</li> <li>9月 - オープン2周年記念事業</li> <li>12月-クリスマス会</li> <li>2月 - 節分</li> <li>3月 - 震災を忘れないために11コンサート(毎年開催)</li> </ul> </li> </ul>				
この事業を企画・実施した人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあい広場三条の会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・誰でも(特に高齢者)が立ち寄れる場所を切望していた地域の有志数名</li> <li>・ふれあい広場を開設するに当たり「ふれあい広場三条の会」を設立</li> <li>・まちづくり委員会から財政支援(家賃と、25年度限定で空調・パソコン整備)と人的支援を受けています。</li> </ul> </li> </ul>				
苦勞した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり委員会との協力体制の構築</li> <li>・利用者の増加や事業の多様化に伴い、スペースの手狭感が増えています。</li> <li>・常駐するボランティアスタッフの確保(後継者の確保)</li> <li>・自主財源の確保</li> </ul>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>第3回ふれあい広場夏祭り</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>クリスマス会(広場有志によるハンドベル演奏)</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>ふれあい広場3周年記念</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>くれきん団取材風景</p> </div> </div>				







番号	22	団体名	三条地区まちづくり委員会	代表者	山上 文恵
事業名	八畳岩登山(登山道整備, 登山)			事業費	約80,000円 (整備費, 保険等)
事業の目的	<p>地域の裏山にあって, かつて地域の人達が慣れ親しんでいた「八畳岩」への登山道が, 人の手が入らないようになってから荒れ果てていました。  5年ほど前からまちづくり委員会では, 消防団の協力を得て, 八畳岩までの登山道を整備し, 参加者を募って春に八畳岩までの登山を行っています。  みんなで登る八畳岩は, 地域のすばらしさの再発見と地域住民の絆づくりに貢献しています。</p>				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日 時 平成27年4月12日(日) 午前10時(集合)～午後1時(下山)</li> <li>・参加者 25名</li> <li>・内 容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・登山道整備事業 毎年, 登山前に時間をかけて登山道を整備。(消防団も協力)</li> <li>・八畳岩登山 八畳岩に登り, みんなで昼食を食べた。(消防団も協力)</li> </ul> </li> </ul> <p>【集合】両城小学校校庭に集合 → 保険申込(記入) → 準備運動  【登山】八畳岩に向けて登山  【山頂】八畳岩で記念撮影, 山頂から自分たちの住むまちを眺望  【下山】足元に気を付けながら下山</p>				
この事業を企画・実施した人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり委員会内の「階段のまち」部会</li> <li>・まちづくり委員会内にまちづくり計画に掲げる各種事業を実施するための部会を設置し, 部会長を中心に事業を実施しています。</li> <li>・八畳岩登山は, 地域内の良さ(お宝)を再発見し, それを維持, 保存するとともに, 広く住民に周知し, 自分たちの住む地域に対する愛着を深める事業を展開しています。</li> </ul>				
苦労した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登山道整備箇所が多く全体の整備には時間がかかっていましたが, 年々環境が整い, 落葉除去程度で済むようになりました。</li> <li>・整備機材や材料の運搬が大変でした。</li> <li>・事前整備をしなかったルートで下山し, 難儀でした。</li> </ul>				
活動状況	 <p>八畳岩で記念撮影</p>				

番号	23	団体名	川原石地区まちづくり委員会	代表者	川畑 勝之
事業名	川原石地区盆踊り大会			事業費	約600,000円
事業の目的	<p>川原石地区では、かつて地域の伝統文化であった「川原石踊り」を平成22年に46年ぶりに復活させ、その伝統文化を引き継ごうと盆踊り大会で踊り継ぐ取組をおこなっている。</p> <p>また、地域の「面識社会」実現の手法として、うちわによる抽選会や民生委員・消防団等の地域団体がかつての夜店を演出し、かき氷やポップコーン、スーパーボールすくいを企画・実行し、一人でも多くの地域住民の参加を促すことで、絆づくりを図るよう工夫を凝らしている。</p> <p>こうして各世代・各団体が役割分担をして事前準備や後片付けを行うことや行事を継続することで、地域ぐるみで、この伝統文化継承に取り組んでいる。</p>				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日時 平成27年8月14日(金) 午後6時～</li> <li>・場所 川原石マリンパーク</li> <li>・内容 盆踊り(川原石音頭、呉踊り、炭坑節) うちわくじを使ったお楽しみ大抽選会 かき氷・ポップコーン・ヨーヨーつり・スーパーボールすくいなどの夜店の開店。 消防団による防災ビデオの上映</li> <li>・参加者数 地域住民約700名参加</li> </ul>				
この事業を企画・実施した人	<p>・川原石地区まちづくり計画の大きな柱の一つである「住民の絆づくり」・「世代間交流」と「地域文化の継承」を目指し、まちづくり委員会や自治会連合会を中心に川原石地区各団体が参加・実施し、オール川原石で取り組む大イベントに成長した。</p>				
苦勞した点	<p>・地域に「川原石踊り」を踊れる人が、年々高齢化し少なくなるなか、日赤川原石分団を中心に習得し、現在はその人たちが先生となって7・8月の毎土曜日に伝承会を開催している。また、同時に太鼓の練習や継承も行っているが、踊りも太鼓のリズムも独特で習得が一朝一夕にはいかず、繰り返しの練習が必要である。</p>				
活動状況	 <p>子ども達大好きなヨーヨーつり</p>		 <p>川原石踊り</p>		
	 <p>賑わう模擬店</p>		 <p>提灯の明かりの下みんなで楽しみました</p>		







番号	24	団体名	川原石地区まちづくり委員会	代表者	川畑 勝之
事業名	川原石地区防災訓練			事業費	約100,000円
事業の目的	<p>川原石地区は海岸に近く、急傾斜地が多い地域であり、津波災害や土砂災害等に関する住民の防災意識の高揚や災害に強いまちづくりを推進するため、毎年防災訓練を実施しています。</p> <p>今年は、広島土砂災害を教訓にして、地区住民の安全・安心の確保、地域防災力の向上を図ることを目的に訓練に取り組みました。</p>				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日時 平成27年11月22日(日) 午前9時30分～</li> <li>・場所 二川まちづくりセンター2階ホール及び川原石マリンパーク</li> <li>・内容 (1) 防災講話「広島市土砂災害から学ぶ～呉市のこれまでの災害」(呉市消防局)</li> <li>(2) 防災訓練 <ul style="list-style-type: none"> <li>①水消火器による初期消火訓練</li> <li>②煙中体験(二川まちづくりセンターの会議室で実施。室内に煙が充満し、視界が20～30cm程度と非常に暗い中で体験してもらいました。このような体験を重ねていけば、まさかの時にいち早い避難が可能となるものと考えています。)</li> <li>③応急担架作成・ロープ結束訓練</li> </ul> </li> <li>・参加者数 地域住民約200人が参加</li> <li>・まちづくりパートナー協定 まちづくり委員会では、平成25年に住民の絆づくりと安全・安心な地域を目指して、地元スーパー藤三と地域のまちづくりと災害時の協力と支援のための協定を締結しました。</li> </ul>				
この事業を企画・実施した人	川原石地区まちづくり委員会と川原石地区自主防災会が中心となり、消防局予防課、西消防署及び消防団湾岸分団の指導により実施しました。				
苦勞した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際の災害に即した防災の理論と実践を学ぶ訓練にするため、どのような内容にするかを綿密に話し合ったこと。</li> <li>・参加者に「いざというとき正しく素早い行動で命を守り、周囲の人と協力してどのように災害を未然に防ぐか」を自分の身近な課題として、分かりやすく伝えられるような訓練にすること。</li> </ul>				
活動状況	 <p>2015/11/22</p> <p>防災講話</p>		 <p>2015/11/22</p> <p>水消火器による初期消火訓練</p>		
	 <p>2015/11/22</p> <p>応急担架作成訓練</p>		 <p>2015/11/22</p> <p>ロープ結束訓練</p>		

番号	25	団体名	中央地域成人式実行委員会	代表者	中谷 一彦
事業名	中央地域成人式			事業費	1,200,000円
事業の目的	今年で7年目となる中央地域の成人式。新成人が生まれ育った地域の方々(祝う人)と新成人(祝われる人)の「顔と顔の見える」・「より心の通った」ものに移行・発展させていくため、本庁管内は9つの自治会連合会と海上自衛隊呉海曹会が合同で実行委員会を立ち上げ、地域協働課や教育委員会の行政も一緒になって協働という形をとりながら開催しています。				
事業概要	<p>日時 平成28年1月11日(祝) 午前11時～午後1時</p> <p>場所 呉市体育館(体育館前の駐車場も含む。)</p> <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・式典(新成人2名によるはたちの誓い, 新成人による司会進行)</li> <li>・新成人によるはたちの大抽選会(成人リーダー企画)</li> <li>・はたちの同窓会(なつかしい友達や恩師を囲んでの同窓会)</li> <li>・記念撮影スポット</li> <li>・はたちの誓いメッセージボード(成人リーダー企画)</li> <li>・地域の贈りもの(各地区からの食べ物などのおもてなし)</li> <li>・各地区からのボランティア(受付, 模擬店の出店)</li> <li>・着付け教室による「着付け110番」ボランティア(5名参加)</li> <li>・市立呉高等学校生徒によるボランティア(地域ブース・全体運営補助 34名)</li> <li>・市職員によるボランティア(地域ブース・全体運営補助 新入職員を含む 23名)</li> </ul> <p>※新成人出席者 316名(対象者の61.1%)</p>				
この事業を企画・実施した人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央地域成人式実行委員会</li> <li>中央地域の9つの自治会連合会, 海上自衛隊呉海曹会, 呉市, 呉市教育委員会</li> </ul>				
苦勞した点	新成人代表を企画段階からスタッフに加え、式典での役割や式典後のイベント内容について、何度も会議を開催したが、クラブ活動・アルバイト等で多忙なため全員が出席することが少なく、無事に終わるのか最後まで不安だった。				
活動状況	 <p>式典(主催者挨拶)</p>		 <p>はたちの誓い</p>		
	 <p>はたちの大抽選会</p>		 <p>地域ブース(餅つき)</p>		





番号	26	団体名	吉浦まちづくり委員会	代表者	薄井七郎
事業名	第25回 詩歌創作大会			事業費	約110千円
事業の目的	郷土に伝わる古歌「よし浦のさと」(藤原為時(紫式部の父)が詠んだ歌)の碑が町民グラウンド公園内に建設されています。これを地区の文化財として大切に守り伝えるとともに、小・中学生による詩歌創作大会を歌碑周辺において開催し、青少年・児童の情操教育並びに、文化の向上を目標としています。				
事業概要	<p>1 事業内容 詩歌創作とお茶席(抹茶)体験 実施年月日:平成27年5月9日(土)</p> <p>(1)児童及び生徒による短歌づくり 吉浦の自然にふれ、感じたままを5, 7, 5, 7, 7の言葉で表現する。 →後日、審査委員会にて優秀作を選び、表彰する。</p> <p>(2)お茶席 お茶の先生の指導のもと、お茶席を体験。抹茶と饅頭で楽しく過ごす。</p> <p>2 参加者数 吉浦小, 落走小, 吉浦中の児童及び生徒 約100名 保護者, 運営スタッフ等 約120名 合計 約220名</p>				
この事業を企画・実施した人	詩歌創作大会実行委員会(吉浦地区の民児協ほか7団体で構成)				
苦勞した点	<p>(1)雨天時は、まちづくりセンターに会場を変更し、実施する予定にしていますが、毎年天気状況に気を使います。今年は雨天のため会場変更して実施しました。</p> <p>(2)小学校では高学年で短歌を学習することもあり、低学年にとって創作は難しいことかもしれませんが、子供らしく、見たまま、感じたままを素直に表現するように、また、中学生には「吉浦」という言葉ではなく、「吉浦」とわかる言葉や語句等での表現に努めるよう指導しています。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 50%;"> <h3>古歌「よし浦のさと」</h3> <p>藤原為時 作</p> <p>「かくまでに、思はざりしに、来てみれば いと住みやすき、よし浦のさと」</p> <p>* 吉浦の吉は、豊臣秀吉が名付けたとのいわれがあります。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="width: 45%;">  <p style="text-align: center;"><b>開会式</b></p> </div> <div style="width: 45%;">  <p style="text-align: center;"><b>お茶席</b></p> </div> </div>				

番号	27	団体名	吉浦まちづくり委員会	代表者	薄井 七郎
事業名	第10回 吉浦地区防災訓練			事業費	約100千円
事業の目的	吉浦地区全体で防災活動の機運を高め、楽しみながら消火活動や避難の模擬体験をし、さらなる地域の防災意識の高揚を図ることを目的として、平成18年度から継続して訓練を実施しております。				
事業概要	<p>日時 平成27年10月18日(日) 午前10時～12時 ※準備は午前7時30分～</p> <p>場所 吉浦小学校</p> <p>内容 (1) 第1部(避難・誘導訓練)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難場所(吉浦各地区から吉浦小学校へ徒歩での避難開始)《地区住民約200名》</li> <li>(吉浦小学校へ避難者を誘導)《自治会長, 民生・児童委員》</li> </ul> <p>(2) 第2部(実地訓練)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 初期消火訓練(消火器による消火訓練)</li> <li>イ 避難訓練(災害時の非常持ち出し品の訓練)</li> <li>ウ 応急救護訓練(重傷者への応急処置, AED使用方法の講習)</li> <li>エ 防災講話</li> </ul> <p>(3) 第3部(給食・給水訓練)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・吉浦女性会による炊き出し(むすび, みそ汁等)</li> <li>・民生・児童委員による災害備蓄食品(乾パン)の配布, 試食</li> </ul>				
この事業を企画・実施した人	平成18年度に、吉浦地区自治会連合会が消防庁の安心安全ステーション整備事業のモデル地区に選ばれ、これを機に吉浦地区全体で防災活動の機運を高めていくために、西消防署や地元消防団の御指導をいただきながら、吉浦女性会、民生・児童委員協議会をはじめとする各種団体の協力のもと事業を始めました。				
苦労した点	炊き出しのための機器の運搬や火起こしに時間と手間がかかります。迅速性を高めるための工夫(カセットコンロの導入など)を検討しています。				
活動状況	<div style="text-align: center;">  <p>消火器による初期消火訓練</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>応急救護訓練</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>炊き出し訓練(味噌汁配布)</p> </div> </div>				

番号	28	団体名	吉浦まちづくり委員会	代表者	薄井 七郎
事業名	よし浦まちづくり発見隊 フィールドワークin庄原			事業費	約100千円
事業の目的	吉浦町においては、絆づくりは人づくりと考え、人材の育成研修をまちづくりの重要推進テーマと考えています。そのため、この事業を、「よし浦まちづくり発見隊」と名付け、25年度から取り組みを行っているものです。その目的は、ふるさとよし浦区れの良さの再発見及びくれ市外の優れたまちづくりの良いところを自ら実地に調査研究することにより、吉浦まちづくり委員会の委員等において、今後の地域力向上「発展」に繋がる人材発見「育成」の推進を図る（よし浦まちづくり発見隊事業実施要綱第1条）ものです。				
事業概要	<p>まちづくり委員会で、庄原市へ視察研修に行きました。</p> <p>日時 平成28年1月28日(木) 10時30分～</p> <p>場所 庄原市自治定住課ほか</p> <p>内容 参加人員 計26名(委員14名, 委員外町内在住者12名)</p> <p>学んだ点 「自治振興区によるまちづくり」の取り組みについて →旧公民館施設も地域住民管理</p>				
この事業を企画・実施した人	吉浦まちづくり委員会(協力:庄原市自治定住課)				
苦勞した点	研修日前に広島県内は大雪が降ったため、本研修を実施できるか不安でした。				
活動状況	<p>研修の様子(庄原市役所内)</p> <p>説明講師:庄原市自治定住課課員</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">庄原市の地域の情報ステーション 道の駅 「遊YOUさろん東城」</p> 				



番号	29	団体名	警固屋まちづくり協議会	代表者	下中 幸司
事業名	第19回 警固屋さくら祭			事業費	469,189円
事業の目的	警固屋地区における地域まちづくりのシンボリックイベントとして、地元住民を中心とした自立的な運営を進め、地域住民のまちづくりへの参画及び地域内外の交流の促進を図る目的で実施しております。				
事業概要	<p>日時:平成27年4月5日(日) 10:00 ~ 14:00</p> <p>場所:警固屋体育館</p> <p>内容:①イベントの部  【ステージ】  出演団体:日新製鋼シルバーサウンズ, 警固屋みらい保育所, 消防団はしご隊, 鍋保育所, 警固屋小学校, 鍋ひよっこ踊り同好会, 県民踊・渦潮会, レイフラワーオハナ警固屋, 鍋よっしゃこい踊同好会</p> <p>【子ども関連】  さくら茶屋(警固屋中学校生徒による野点)</p> <p>②売店の部  地元団体など計12の飲食ブース及び物販ブースを出店</p> <p>③フリーマーケットの部  計19のマーケット出店</p> <p>④コーナーの部  餅つき(消防団), 健康管理(警固屋地区運推), 花の苗無料配布</p>				
この事業を企画・実施した人	まちづくり協議会内に設置されている企画部会(部会員14名, オブザーバー1名)が, イベントの企画立案から実施までを担当。この他にも, 自治会や女性会, 民生委員協議会など地元団体のメンバーが協働し設営から運営, 撤去までを行いイベントを盛り上げました。				
苦労した点	前日からの悪天候のため, 本年度は体育館での開催となりました。しかしながら, 急遽の開催場所変更にも地域の皆様の迅速なご協力のもと, トラブルもなく実施することができました。毎年, 天候の変わりやすい季節の開催となるので, 今後も地域の方々と連携しながら事業を進めていきたいと考えています。				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>消防団はしご隊演技</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>鍋ひよっこ踊り同好会演技</p> </div> </div>				

番号	30	団体名	警固屋まちづくり協議会	代表者	下中 幸司
事業名	子ども避難体験事業			事業費	161,924円
事業の目的	【火起こし体験や避難場所での宿泊などを通じた防災訓練の推進と地元住民の連携促進】 夏休みに火起こし体験や避難所での宿泊体験を行うことで、災害時の対応方法を学ぶとともに、レクリエーション等を通じて地域住民との親睦を深めることを目的として実施しております。				
事業概要	<p>日時:平成27年7月25日(土) 14:00 ~ 翌26日(日) 8:30  場所:警固屋まちづくりセンター(ホール)・体育館 など  参加者数:40人(小中学生30人・保護者10人)  内容 ○身体・体力測定 ※10m歩行, 開眼片足立ち等 【協力:運推協】  ○ボランティアの話(広島市豪雨災害支援)  ○火起こし体験 ※空き缶と焚き火で炊飯体験  ○避難所設営 ※体育館にダンボール等で休息・就寝スペースを設営 夕食  ○レクリエーションゲーム  ○自由時間 (泊まり)  ○健康づくり朝会「健康くれ体操」【協力:運推協】 朝食 清掃</p>				
この事業を企画・実施した人	まちづくり協議会の構成団体である警固屋小学校PTAが主体となって企画立案し、当日は警固屋地区運推協等の協力をいただいて実施しました。				
苦勞した点	警固屋小学校PTAの方が積極的に動いて運営してくれたため、終始PTA主導で事業を進めることができました。 大きな苦勞はありませんでしたが、今回は火起こし体験をしたところ、時間がたつに連れて、興味を持ち始め、あっという間に時間がすぎ、皆楽しんでました。参加者数が思ったより伸びなかった点が今後の検討課題と思われます。				
活動状況	 <p>炊飯体験</p>		 <p>ダンボールを使用した避難所設営</p>		
	 <p>ボランティアの話(広島市豪雨災害支援)</p>		 <p>開会式</p>		



番号	31	団体名	阿賀まちづくり推進協議会	代表者	加藤忠二
事業名	まちづくり若者提案事業			事業費	450千円
事業の目的	<p>阿賀のまちづくりに関心を持っている若い人たちを募集し、若者の発想により提案されたまちづくり事業を実施する。</p> <p>このことにより、地域づくり・まちづくりに関心を持つ若者を発掘し、その波及効果として、次のまちづくりを担うより若い世代の人たちにまちづくりに興味・関心を持ってもらう。</p>				
事業概要	<p>阿賀のまちづくりを考える若い人たちによる「若者提案事業」を平成24年度から実施している。</p> <p>メンバーは呉高専の学生を中心に社会人を含め現在20名。</p> <p>月2回程度、まちづくりについて検討する会議を開催している。</p> <p>メンバーの自由な発想で阿賀を元気にする事業を企画・提案し、自らの手で実行している。</p> <p>24年度はイベントとして「1日限りの阿賀学校」を開催、25年度は「情島自然学校」を開催した。</p> <p>26年度は「情島自然学校Ⅱ」を開催、また、阿賀のまちを歩いて調べた「阿賀のお宝マップ『WAGAMAP』」も作成した。</p> <p>27年度は「阿賀まちさんぽ」を開催した。</p>				
この事業を企画・実施した	阿賀まちづくり推進協議会				
苦勞した点	<p>仕事や学業などそれぞれの事情があり17時からの会議に全員がそろうことは難しかった。</p> <p>また、本年度は呉高専が実施する授業「インキュベーションワーク(企画実施能力の開発)」とも連携して実施したため、たくさんの学生が参加したが、一方でほとんどの事業を学生たちだけで行うこととなり、社会人の参加が少なかった。</p>				
活動状況	<p>27年度は前年度実際に町内を歩いて作成した「阿賀のお宝マップ」を活用し、阿賀の良いところを学生達が市民に紹介する「阿賀まちさんぽ」を開催した。</p> <p>阿賀の歴史スポットや見どころなどを歩いて回りながら学生たちが解説し、ミニ縁日や軽食、牡蠣打ち体験なども行った。(約3kmのコースを3時間かけて回った。)</p> <p>参加者からは「阿賀のまちを見直す良い機会となった。」「とても良いイベントだった。」等の声があり、好評のうちにイベントを終えた。</p> <p>今回は地元の小学生も多く参加し、自分たちが住む阿賀のまちを再発見したり、地域の人たちとのふれあいを持つことでさらに興味を持ってもらうことが出来た。</p>				



番号	32	団体名	阿賀まちづくり推進協議会	代表者	加藤忠二
事業名	阿賀まち銘板事業			事業費	180千円
事業の目的	<p>阿賀まちづくり推進協議会では阿賀の旧町名にまつわる歴史や伝統などを遺していくため、「まちしるべ」石柱設置事業を実施した。</p> <p>阿賀には、隠れた歴史的な名所・旧蹟・伝承などがあるが、その場所や由来を示す標識などはほとんど設置されていない。</p> <p>そこで、「まちしるべ」事業をさらに進め、由来や伝承などを書いた銘板を設置し、地元の歴史的資源を知ってもらうとともに、郷土への関心を高めていこうとするもの。</p>				
事業概要	<p>アクリル板で銘板を作成し、地域に銘板を設置していく。</p> <p>○場所の選定、文章の作成:阿賀歴史文化研究会  ○デザイン:呉工業高等専門学校  ○銘板作成:呉工業高等専門学校(アクリル板をレーザー加工)  ○設置:阿賀歴史文化研究会、地元の自治会・住民のみなさん</p> <p>現在、銘板の設置場所の候補として80カ所を選定しており、うち約30カ所について銘板へ記載する文章を具体的に検討している。  26年度は7カ所設置、27年度には6カ所設置した。</p>				
この事業を企画・実施した人	阿賀まちづくり推進協議会				
苦勞した点	内容や設置場所について阿賀歴史文化研究会のメンバーで何度も話し合いを重ね、設置にあたっては地元自治会の人たちと一緒に設置した。				
活動状況	<p>あがまち銘板</p> <p>みんなで設置</p> <p>研究会・地元自治会のみなさん</p> <p>テレビ取材</p>				






番号	33	団体名	阿賀まちづくり推進協議会	代表者	加藤忠二
事業名	今昔子どもふれあい大会			事業費	680千円
事業の目的	<p>阿賀のみんなが集い参加して盛り上がっていただける町民の祭りを開催するもの。          阿賀地区では昭和40年頃から女性会・老連・子ども会が合同で「今昔子ども創作大会」を開催してきた。平成23年度から、この大会を阿賀町民全体の祭りにするため、阿賀まちづくり推進協議会の主催とし阿賀の地域団体全てが参加し、阿賀市民センター全館を利用して「今昔子どもふれあい大会」として開催している。</p>				
事業概要	<p>今の子どもと昔の子どもが集い体験交流を深める事業として『今昔子どもふれあい大会』を実施。          阿賀まちづくり推進協議会の各団体、アガデミア参加学校、地元企業の協力によりイベントや屋台、ステージアトラクションなどを実施した。  <b>【内容】</b>          ○イベント          プラバンづくり、マスコットづくり、書道体験、お茶いっぷく、アートバルーン、紙ひこうき、豆つかみ競争、紙ずもう、どんぐりゴマ、折り紙、飲酒運転体験メガネ、交通安全グッズ配布ほか          ○屋台          焼きそば、うどん、お好み焼き、綿菓子、ポップコーン、中華おこわ、カレーライス、くじびき、ジュースほか          ○ステージ          吹奏楽演奏(市立呉高等学校)、バンド演奏(広島文化学園大学ほか)、よさこいソーラン(阿賀中学校・YAMATOくれびと)</p>				
この事業を企画・実施した人	阿賀まちづくり推進協議会				
苦勞した点	参加団体が協力的でスムーズにイベントが開催できた。				
活動状況					







番号	34	団体名	広まちづくり推進協議会	代表者	吉井 光廣
事業名	第42回広子ども祭			事業費	1,100千円
事業の目的	広地区の子どもたちの健全な育成を願って、地域の大人と子どもが一体となって開催する伝統行事。				
事業概要	<p>【日時】 平成27年5月10日（日）11:00～16:00</p> <p>【場所】 広公園，白岳小学校</p> <p>【内容】 ①交通安全おみこしパレード（広商店街～広公園）  ②広公園会場／  夢ふうせん，遊び広場，くれ市民協働センターPRコーナー  ③白岳小学校会場／  消防コーナー，リサイクル・エコロジー学習コーナー，手形コーナー</p>				
この事業を企画・実施した人	主催：広まちづくり推進協議会 共催：広地区社会福祉協議会，呉市赤十字奉仕団広分団 主管：広子ども祭実行委員会，広子ども会連合会 ※その他，協力・協賛団体あり				
苦労した点	関係団体との連絡調整				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>交通安全パレード</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>夢ふうせん</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>手作りおみこし</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>冒険コーナー</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>消防コーナー</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: right;"> <p>来場者数 約2,500人</p> </div> </div>				

番号	35	団体名	広まちづくり推進協議会	代表者	吉井 光廣
事業名	第67回広地区教育祭			事業費	2,520千円
事業の目的	<p>広村の先人が遺した旧広村公会堂前（現・広小学校）にある「教育第一」の石碑の精神を受け継ぎ、昭和23年から毎年開催。「学ぶ・創る・楽しむ・夢がひろがる」をスローガンに、世代を問わず、文化行事からスポーツまで地域を挙げて行う伝統行事。</p>				
事業概要	<p>11月のおよそ1か月間をかけて、作品展示や舞台発表、講演会、教育功労者表彰式などを開催。また、関連事業として、音楽祭、合唱祭、歴史講演会「愛ひろ心」といった特色ある文化行事やスポーツ大会を開催している。</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>主催：広まちづくり推進協議会  共催：広地区社会福祉協議会、赤十字奉仕団広分団  主管：広地区教育祭実行委員会ほか  ※イベントごとに実行委員会を設立  後援：呉市、呉市教育委員会  ※その他、協力・協賛団体あり</p>				
苦勞した点	<p>関係団体との連絡調整，参加者（団体）の事前準備</p>				
活動状況	<p>期間中の延来場者数 約17,000人</p> <p>■第5回広地区音楽祭 11/3（祝・火）  広地区中学・高校・大学の吹奏楽部と社会人バンドが集う音楽イベント。地域の一体感の創出と、技術のレベルアップを目的に、定着したイベントになっています。</p>  <p>■教育功労者表彰式 11/23（祝・月）  広地区の教育文化の向上に寄与した個人・団体を表彰する式典。今年は個人9名と1団体を表彰しました。</p>  <p>■文化講演会 11/23（祝・月）  毎年、著名人による文化講演会を開催。今年は地元広まち出身の石橋秀幸さんを招いて、「エンジョイ・エイジング」と題してカラダづくり，健康づくりをテーマに開催しました。</p>  <p>■第4回広地区合唱祭 11/29（日）  呉市制110周年の記念イベントとして開始して以来，広地区のコーラスグループの交流，夢や希望を与えるイベントとして，文化の向上に寄与している。</p>  <p>■その他，秋の文化祭や児童・生徒の作品展，講座・サークル活動の発表，高校生による大書揮毫，歴史講演会「愛ひろ心」，交流広場，市民活動メッセ，健康コーナーなど，期間中はたくさんの関連行事を開催しています。</p>				



番号	36	団体名	広まちづくり推進協議会	代表者	吉井 光廣
事業名	第12回広地区クリーン活動			事業費	90千円
事業の目的	小・中学校を中心とした年末のクリーン活動を地域が一体となって実施することで、世代間交流を促進し、まちの環境美化意識を啓発する。				
事業概要	<p>【日時】 平成27年12月2日（水）13:00～16:00</p> <p>【場所】 広地区小学校、中学校（集合・解散場所）</p> <p>【内容】 学校区ごとに実施する清掃活動。各児童・生徒をはじめ地元市民団体も参加し、一緒に清掃活動に取り組むことで、学校区域内の明るい環境を整備するとともに、地域に住む者同士がお互いを知ることで登下校の安心で安全なまちづくりにもつながっている。</p> <p>※平成27年度は当日、天候不良で中止。</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>広まちづくり推進協議会・広地区小中学校（合同事業）</p> <p>協力：地区自治会等（合同清掃），広警察署（安全パトロール），環境業務課（ゴミ収集）</p>				
苦労した点	関係団体との連絡調整				
活動状況	<p>平成26年度の様子</p>      				

番号	37	団体名	仁方町まちづくり推進協議会	代表者	大段忠彦
事業名	仁方地区自主防災会合同避難訓練			事業費	約70,000円
事業の目的	仁方地区の地域防災避難行動に焦点を当てた実践的な訓練を通じて、一人一人が安全・確実に避難するための避難通路、避難場所、一時避難場所などを確認しながら、防災意識の高揚を図ることを目的とし、11自治会が連携し仁方地区自主防災会合同避難訓練を実施しました。				
事業概要	<p>日時 平成27年5月30日(土) 9時30分～11時30分  場所 仁方小学校 (命かがやく広場・体育館)  内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①各地区訓練場所の区域内に配置した消防団車両及び消防団員により「津波、地震、避難指示の発令」の広報を実施</li> <li>②自治会・自主防災会組織、消防局(東消防署)、消防団が連携協力して、避難の呼びかけや避難誘導を行いながら、各地区指定場所に集合し、仁方小学校に避難</li> <li>③仁方小学校に到着後、消防局の指導により各自治会単位で煙中体験を実施</li> <li>④防災講話(東消防署) 「台風・集中豪雨に備えて」</li> <li>⑤救急講話(東消防署仁方出張所) 「救急について」</li> </ol>				
この事業を企画・実施した人	仁方町まちづくり推進協議会と同地区自主防災会が中心となり企画しました。				
苦勞した点	災害時における各地区の実情に即した訓練内容				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>煙中体験</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>開会式</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>防災講話</p> </div> </div>				



番号	38	団体名	仁方町まちづくり推進協議会	代表者	大段忠彦
事業名	仁方夏まつり			事業費	約1,000,000円
事業の目的	仁方地区のまちづくり計画では「仁方をもっと知り、もっと好きになり、より良い町にするために」をスローガンに「人と人の繋がりのあるまちにづくり」を目指しています。そのまちづくりの一環として仁方夏まつりを開催しました。				
事業概要	<p>日時 平成27年7月25日(土) 午後5時～午後8時30分  場所 仁方中学校(グラウンド)  内容 第1部</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①仁方中学校吹奏楽部演奏</li> <li>②呉よっしゃこい踊り(仁方地区子ども会連合会)</li> <li>③仁方中学校 和太鼓</li> <li>④仁方中学校 ダンス</li> <li>⑤特別出演 かぶと虫バンド</li> <li>⑥ビンゴゲーム(仁方地区子ども会連合会)</li> </ol> <p>第2部</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①盆踊り</li> <li>②お楽しみ抽選会</li> </ol> <p>屋台村  生ビール・ビール・ジュース・コロッケ・ポテトフライ・たこ焼き・鶏の唐揚げ・焼鳥・枝豆・ポップコーン・炊き込みご飯・焼きそば・焼きとうもろこし・フランクフルト・干しエビ・アイスもなか・かき氷・綿菓子・抹茶&amp;お菓子・バザー・射的・おもちゃ・スーパーボールすくい</p> <p>役割分担 仁方町まちづくり推進協議会幹事等が仁方夏まつりの実行委員会の責任者になって企画及び実施した。</p>				
この事業を企画・実施した人	仁方まちづくり推進協議会委員等による、仁方夏まつりの実行委員が中心となって、各種地域団体の協力により、イベント、屋台のブース設営等を行いました。				
苦労した点	盆踊り(仁方音頭)を盛り上げていくための各自治会ごとの練習や全体練習 第1部の出演団体の時間配分調整				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">第1部イベント風景</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">第2部盆踊り風景</p>				



番号	39	団体名	仁方町まちづくり推進協議会	代表者	大段忠彦
事業名	仁方の福祉を考える会			事業費	約8,000円
事業の目的	「ご近所福祉のすすめ」(地域福祉)をテーマとして、地域福祉のあり方を学習し、住民とともに今日の問題と対応について意見交換を行い、住みよい仁方のまちづくりの取り組みの一助とするものです。				
事業概要	<p>日 時 平成28年1月23日(土) 午後1時30分～午後3時  場 所 仁方まちづくりセンター3階ホール  テーマ 「ご近所福祉のすすめ」(地域福祉)  内 容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①開会式</li> <li>②基調報告「地域福祉の現状について」仁方町まちづくり推進協議会幹事 樽本 叡</li> <li>③基調講演「地域福祉のあり方について」呉市社会福祉協議会 地域福祉課長 田中 秀樹</li> <li>④テーマに基づくグループ討議</li> <li>⑤まとめ</li> <li>⑥閉会式</li> </ul>				
この事業を企画・実施した人	仁方町まちづくり推進協議会幹事が中心となって企画し、各種地域団体及び呉市社会福祉協議会の協力により実施しました。				
苦勞した点	グループ討議を行う際の進行				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">基調講演</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">グループ討議</p>				



番号	40	団体名	仁方町まちづくり推進協議会	代表者	大段忠彦
事業名	「春が楽しみ！チューリップ」事業			事業費	約270,000円
事業の目的	チューリップを育てて、まちに彩りと潤いを与え、人と人がつながることによって、魅力ある「仁方のまちづくり」を推進するものです。				
事業概要	<p>各自治会、小・中学校、幼稚園、保育所、福祉施設等にチューリップの球根、培養土等を配付し、プランター等に植えて、人が集まり、多くの人から見える場所で育てていくものです(入学式頃に仁方町の各所で一斉にチューリップが開花する。)</p> <p>球根、培養土の配付  9月14日(月)～9月16日(水)  各自治会、小・中学校、幼稚園、保育所、福祉施設等に球根を配付  9月25日(金)～9月26日(土)  各自治会、小・中学校、幼稚園、保育所、福祉施設等に培養土を配付</p> <p>球根の植付け時期  原則10月3日(土)～18日(日)の間にプランターや公園等に植付け</p> <p>配付球根数  4,800個(赤、白、黄、ピンクの4色)  *配付球根のほか昨年度育てた球根も活用しました。</p>				
この事業を企画・実施した人	仁方町まちづくり推進協議会が中心となって、農業振興センター、小・中学校、幼稚園、保育所、福祉施設等の協力により実施しました。				
苦労した点	この事業を継続するための予算の確保(広島県みどり推進機構の助成を活用)				
活動状況	 <p>中筋自治会</p>  <p>棧橋自治会</p>  <p>大東自治会</p>  <p>ぽこ・あ・ぽこ</p>  <p>仁方中学校</p>  <p>仁方小学校</p>				

番号	41	団体名	宮原地区まちづくり推進委員会	代表者	松本 忠
事業名	宮原夢いっぱいフェスタ！			事業費	47千円
事業の目的	小中学生に先輩である高校生の素晴らしい演技演奏を鑑賞する場を提供することにより、感性を高め夢や志を抱く一助とし、健全な育成を図る。				
事業概要	<p>【日時】平成27年12月13日(日)13:30～14:30  【主催】宮原地区まちづくり推進委員会(子育て幹事会)  【内容】「宮原夢いっぱいフェスタ」  ア 開会行事 宮原中学校長挨拶  宮原地区まちづくり推進委員会副会長挨拶  イ 演奏演技 呉宮原高等学校  (音楽部・吹奏楽部・ダンス部)  ウ 閉会行事 ひと言感想  児童・生徒代表あいさつ  宮原地区まちづくり推進委員会 子育て幹事会幹事長挨拶  ※子どもサミット(児童会・生徒会)で協議された「花の種」を配る。  市販のものではなく、児童生徒が学校内で栽培した草花の種子を採取し、袋に入れたもの。  【参加者】宮原小学校全児童、坪内小学校全児童、宮原中学校全生徒、一般・保護者(約60名)  呉宮原高等学校56名(音楽部・吹奏楽部・ダンス部)※顧問の先生2名を含む</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>【企画】宮原地区まちづくり推進委員会(子育て幹事会)  【実施】会場準備・片付け:宮原中学校の先生・生徒  進行管理:宮原地区まちづくり推進委員会子育て幹事会メンバー</p>				
苦労した点	宮原地区の小・中学生が一堂に集まることは初めてのことで、当日は多少混乱しました。イベントとしては、地域の小・中・高校生が集まることで、私達が思った以上に子ども達が目指すべき姿が明確になり、良い機会となりました。				
活動状況					



番号	42	団体名	宮原地区まちづくり推進委員会	代表者	松本 忠	
事業名	「宮原ホタルの里」の整備			事業費	316千円	
事業の目的	<p>神原公園の一部と隣接地において、ホタルの育成やアジサイの植栽等を、地域ぐるみで整備、維持管理することにより、宮原地区のシンボルとするとともに、子どもたちの環境学習の場とする。</p> <p>また、ホタルまつり等の行事を通じて、地域の絆を深め、「住みよいまち宮原」をつくる。</p>					
事業概要	<p>【宮原ホタルの里の概要】</p> <p>所在地 呉市神原町23番 神原公園の一部及び隣接地</p> <p>沿革 H22.7 呉市まち普請制度を活用し、神原公園内にホタルが育つ人工池を整備  H24.11 神原公園隣接地を整備し活用する計画が、都市緑化機構主催の「緑のデザイン賞」において「緑化大賞」を受賞(助成金800万円)  H25.3 緑化大賞の助成金を活用し、神原公園隣接地に、人工池・せせらぎ・アジサイの植栽等の整備を行い、宮原ホタルの里が完成  H26.5 NPO法人日本ビオトープ協会の「ビオトープ大賞」受賞  H26.6 第1回宮原ホタルまつり開催(来場者約800人)  H26.12 平成26年度「広島県いきいき地域づくり賞」受賞  H27.6 広島県みどり推進機構の「みどりづくり活動支援事業」交付金を活用し、ウツギ・タニウツギの苗木を植樹</p> <p>平成27年度の活動</p> <p>6月10日 クリーン活動  6月13日 第2回ホタルまつり  7月31日 アジサイのせん定  10月26日 清掃</p>					
この事業を企画・実施した人	<p>宮原地区まちづくり推進委員会内にホタル幹事会を設け、地区在住のホタル愛好家や技術者等の指導を受け事業を進めています。</p> <p>また、整備に当たっては、自治会連合会、女性連合会、地元企業などの団体や学校、行政が一体となって行うとともに、継続して地元の住民で維持管理運営を行っています。</p>					
苦勞した点	<p>第2回「宮原ホタルまつり」は、宮原小学校、坪内小学校、宮原中学校の各PTA、女性会及び児童館などの協力で、屋台の出店等を行いました。</p> <p>前回の反省を踏まえて、今回は綿密な打合せを行い、来場者だけではなくスタッフも満足できたイベントになりました。</p>					
活動状況	<p>クリーン活動</p> 	<p>宮原ホタルまつり</p> 	<p>アジサイのせん定</p> 			

番号	43	団体名	宮原地区まちづくり推進委員会	代表者	松本 忠
事業名	宮原地区合同防災訓練			事業費	10千円
事業の目的	宮原地区の全自治会が合同で、「自分の命は自分で守る」をテーマとした実践的な訓練を行うことにより、防災意識の高揚を図る。				
事業概要	<p>【日時】平成27年9月27日(日)9:00～12:00  【主催】宮原地区まちづくり推進委員会  【場所】宮原中学校体育館  【内容】</p> <p>(1)第1部(避難訓練)  (2)第2部(実地訓練)  ア 開会式  イ 防災講話「広島土砂災害を受けて」～災害応援隊による報告～  写真展示 ※広島土砂災害現場写真  ウ 初期消火訓練  エ 救助訓練(毛布を使用した応急救護訓練)  オ 応急救護訓練  カ 防災備品の体験(発電機等)  キ 防災備品の展示(防災倉庫の備品展示)  ク 訓練講評・あいさつ  ケ 非常食料配布  コ 現地災害対策本部の解散</p> <p>※ 事前に各自主防災会で災害図上訓練を行い、避難訓練を行った。  ○図上訓練の目的  参加者が大きな地図を囲み、地図に全員が書き込みを加えながら、議論をすることで、その地域の災害に対する強さや弱さを明らかにし、具体的な避難行動に役立てる。</p>				
この事業を企画・実施した人	【企画】宮原地区まちづくり推進委員会 【参加団体】宮原地区自治会連合会、宮原女性連合会、第1区民生委員児童委員協議会、宮原地区老人クラブ連合会、宮原体育協会、宮原中学校				
苦勞した点	訓練想定を土砂災害としたことで、実地訓練内容を消防局と綿密に調整しましたが、参加者が約300名と多かったため、全員が訓練に参加できませんでした。 中学生と地域住民と一緒に訓練できたことで、会場の場が和みました。来年度は今年度の反省を生かして、訓練を行う予定です。				
活動状況					



番号	44	団体名	天応地区社会福祉協議会 天応まちづくり委員会	代表者	茶林 正 友井 輝道
事業名	「笹酒まつり」と「もちつき大会」			事業費	450,000円
事業の目的	<p>笹酒まつりともちつき大会は、昭和54年からはじまった天応を代表する恒例行事です。青竹に含まれているクロロフィルは、制ガン効果があるといわれており、天応町民と来場される皆さんに笹酒を飲んでもらい、この一年の無病息災を祈るとともに、新成人の成長を祝い、今後の活躍を祈念することを目的として開催しました。</p>				
事業概要	<p>日時 平成28年1月11日(祝)午前10時30分～午後0時30分          ※成人式は午前10時～午前10時30分          場所 呉ポートピアパーク イベント広場、外          内容 神事(来賓、主催者及び新成人代表者による玉串奉奠等) 式典(挨拶) ソーラン踊り          振舞酒 もちつき、ぜんざい配膳 懇親会(卒業時の恩師、来賓、地域の方々)          ※お酒を青竹で温めて、晴れ着姿の新成人が来場者約2,000人に振る舞い、さらに地域の皆さんと一緒にもちつきをして、新成人の門出を祝いました。          ※笹酒を飲んで1年の無病息災を願うこのイベントは今回で38回目を数え、今や天応地区の年始の風物詩となっています。</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>天応地区社会福祉協議会の四役会議において企画立案するとともに、天応地区の各種団体の代表者(各会場の責任者)で会議を開催し、役割分担を再確認し、神事会場、もちつき会場及び懇親会場などの設営や運営を行いました。</p>				
苦勞した点	<p>苦勞した点ではないが、この伝統行事を継続していくためには、竹の確保及び竹細工などの技術を若い人に受け継いでいく必要がある。(マンパワーの確保)</p>				
活動状況	 <p>山から切り出した竹を猪口等に加工</p>		 <p>ソーラン踊り</p>		
	 <p>来園者への振舞酒</p>		 <p>もちつき大会</p>		

番号	45	団体名	天応まちづくり委員会	代表者	友井 輝道
事業名	天応町納涼盆踊り大会			事業費	350,000円
事業の目的	<p>天応町は、春は「鯉のぼりの吹き流し」や冬には「笹酒まつりともちつき大会」という代表的なイベントがあるが、夏はこれといったイベントがなかったため平成23年に地域の皆さんの熱意で復活した「天応町納涼盆踊り大会」を平成27年も呉ポートピアパークで実施しました。今回も約75発の花火を打ち上げました。天応町民やお盆に帰省された方など1,000人も大勢の参加者で賑わい、盆踊りを通して町民同士のふれあいが深まり、地域の連帯感や絆を再確認するとともに、盆踊りを次世代に引き継いでいく文化の継承に寄与しました。</p>				
事業概要	<p>日時 平成27年8月8日(土)午後5時～午後9時  場所 呉ポートピアパーク イベント広場  内容 ・盆踊り(呉音頭・地音頭・炭坑節)  ・模擬店(焼き鳥, フランクフルト, フライドポテト, 枝豆, かき氷, ラムネ, ジュース  生ビール, 缶ビールなど)  ・花火(75発)</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>天応町納涼盆踊り大会実行委員会が中心となって企画立案するとともに、まちづくり委員会のメンバーである自治会、女性会、体育協会や呉ポートピアパーク友の会、大浜子ども会などが協働して各ブースの設営、運営に当たりました。</p>				
苦労した点	<p>盆踊りを継続的に実施し、盛り上げていくために各自治会から実行委員を2名出してもらったり、盆踊りを次世代に継承するため、子どもに参加してもらえよう、小学校で盆踊りの練習に取り組んでもらったりと工夫を重ねた。また、当日だけ参加した実行委員のなかには、参画意識が薄く積極的に動いてもらえない方も見受けられた。</p>				
活動状況	 <p>盆踊り</p>		 <p>盆踊りに参加する地域住民</p>		
	 <p>模擬店の様子</p>		 <p>盆踊りを彩る花火</p>		



番号	46	団体名	天応まちづくり委員会	代表者	友井 輝道
事業名	鯉のぼりの吹き流し			事業費	100,000円
事業の目的	<p>鯉のぼりの吹き流しは地元ボランティアにより実施しています。竹林から竹を切り出したり、鯉のぼりを取り付けて掲げるなど、地域の方が協力して作業することで、地域交流の機会を創出しています。</p> <p>また、近年ではあまり見られなくなった鯉のぼりを掲げることにより、呉ポートピアパークに来園する多数の親子連れの語らいの場を設けるとともに日本の伝統文化に触れる機会も提供しました。</p>				
事業概要	<p>日時 平成27年4月8日(水)～5月20日(水)</p> <p>場所 呉ポートピアパーク 海沿いの遊歩道</p> <p>内容 各自治会から2～3名の参加を得て呉ポートピアパークに18本の鯉のぼりを立てる。約1か月後に各自治会の協力を得て鯉のぼりを撤去する。 (竹竿は各自治会から2～3名の参加を得て10月頃に山から切り出し、4月まで天応中学校に保管し、4月に呉ポートピアパークに移動させる。)</p> <p>※平成13年度から始まったこの事業は、毎年80匹程度の鯉のぼりを掲げており、今では呉市の春の風物詩となっています。</p>				
この事業を企画・実施した人	まちづくり委員会のメンバーである各自治会から2～3名の参加を得て、竹林からの竹の切り出し、鯉のぼりの取り付け、撤去に当たりました。				
苦労した点	海の側に立てているため、強風に伴い海に落ちたり、破れたりするなど損傷が激しい。定期的に鯉のぼりを購入しないと事業の継続が難しくなる。(以前から不要になった鯉のぼりを募集しているが、提供者が激減している。)また、風雨のため鯉のぼりが竹竿に巻き付いたり、緩んだりすることが多々あるため、頻繁に点検する必要がある。				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>今や地域の風物詩として定着しています</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>海沿いの遊歩道に18本の竹竿を立てます</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>竹竿は地域の竹林から切り出します</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>地域の皆さんのおかげです</p> </div> </div>				





番号	47	団体名	昭和地区まちづくり協議会	代表者	神田 晃典
事業名	第10回 昭和地区ふれあいフェスティバル			事業費	1,370千円
事業の目的	<p>地域内のまちづくり団体などが集い、それぞれの持ち味を生かした手作りのイベントを実施、交流を深め、連携を図る。</p> <p>【テーマ】 みんなでつくり みんな楽しい 手作りイベント～「おいしい」「たのしい」「なつかしい」がいっぱい～</p>				
事業概要	<p>「おいしい」 郷土料理「八寸」試食会、昭和の駄菓子屋、ポン菓子、ポップコーン、カレーライス、餅とぜんざい</p> <p>「なつかしい」 折紙・あやとり・おはじき、竹細工づくり、親子で藤井清水を歌い昔の遊びを楽しもう など</p> <p>「たのしい」 昭和北中学校のマーチング演奏、地区団体のステージ発表、ヒーローショー、福祉施設作品展示と販売、写生大会、カラーリング大会、もちつき体験、ヨーヨー釣りとバルーンアート、スタンプラリー、ミニ消防車乗車体験 など</p> <p>延べ参加人数 約13,000人</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>まちづくり協議会をはじめとする地域の諸団体から推薦された20人で「ふれあいフェスティバル実行委員会」を結成し、企画段階からイベント実施までを行った。</p>				
苦労した点	<p>当日は駐車場がないことから近隣店舗などに駐車する参加者が目立ち、店舗から苦情が多かった。</p>				
活動状況	   				







番号	48	団体名	昭和地区まちづくり協議会	代表者	神田 晃典
事業名	平成28年昭和地区「成人の日」記念式典・記念行事			事業費	778千円
事業の目的	昭和地区をあげて、地区在住の新成人を祝福・激励するために式典・行事を開催。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・司会進行(呉昭和高校の生徒)</li> <li>・国歌・呉市歌斉唱(呉市藤井清水の会)</li> <li>・音楽の贈り物(昭和中学校吹奏楽部)</li> <li>・郷土料理「八寸」試食会(昭和西女性会)</li> <li>・ぜんざいのおもてなし(昭和東女性会)</li> <li>・アンケートの実施(第19・21区民児協)</li> </ul> <p>新成人出席者 325人(対象の92%)</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>【主催】昭和地区自治会連合会と昭和地区まちづくり協議会  昭和西女性会, 昭和東女性会, 第19区・21区民生委員児童委員協議会, 呉市藤井清水の会, 呉市消防団昭和分団, 昭和中学校吹奏楽部, 呉昭和高校放送部の協力で実施した。</p>				
苦労した点	<p>新成人がもらってうれしい記念品の選考に苦慮した。  今年度から、地元企業にも協力いただき、これまでにない記念式典となった。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>○記念品贈呈</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>○二十歳の誓い</p> </div> </div>				


番号	49	団体名	郷原町まちづくり推進委員会	代表者	山本 英則
事業名	郷原町盆踊り大会			事業費	500, 000円
事業の目的	・地域の伝統文化行事を継承することで、地域住民の世代を超えた絆を深め、豊かな心を育むとともに、伝統文化の継承者の育成を図り、企画を通して地域の人材を発掘していく。				
事業概要	<p>日時 平成27年8月14日(金) 午後6時30分～午後8時30分 雨天により1日延期 (※準備は当日8:00～, 後片付け翌日8:00～)</p> <p>場所 郷原小学校グラウンド</p> <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・盆踊り(炭坑節・にがた・なかはた・郷原音頭・ふるさと郷原音頭)</li> <li>・模擬店運営 やきそば, カレーライス, ポテト・唐揚げ・コロッケ 綿菓子, 細昆布, ゼリー, かき氷, あみだくじ, 金魚すくい, ボールすくい</li> <li>・お楽しみ抽選会(うちわに抽選番号を貼付)</li> <li>・花火大会と和太鼓の演奏</li> <li>・カラオケ大会(演歌歌手出演)</li> </ul>				
この事業を企画・実施した人	郷原町盆踊り大会実行委員会(「郷原町を考える会」を中心にまちづくり推進委員で組織)				
苦労した点	大会の準備から運営の進行管理ができる地域リーダーの養成。				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>会場(郷原小学校)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>主催者あいさつ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>恒例の和☆ROCK</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>盆踊りの様子</p> </div> </div>				



番号	50	団体名	郷原町まちづくり推進委員会	代表者	山本 英則
事業名	ふれあいいきいきサロン			事業費	50,000
事業の目的	高齢者が家庭や地域の中で孤立しないように、地域の人たちが定期的にまちづくりセンターに集い、高齢者が健康でいきいきとした生活が送れるよう地域全体で見守り支援する。				
事業概要	<p>70歳以上の高齢者を対象に月に1回開催。</p> <p>時 間 10時～14時</p> <p>内 容 午前中は、サロンの歌、今月の歌、お誕生会、健康体操、各種趣味講座等を実施。昼食をはさんで午後からはステージイベント等を楽しむ。</p> <p>特 徴 地元の小・中学校や保育所と連携し、世代間交流を定期的を実施。医療機関や警察・交通安全協会、消防署等の協力により講演会や生活安全指導を実施</p>				
この事業を企画・実施した人	サロン運営委員会(地元自治連、民児協、女性会、運動推進の運営委員と各自治会から推薦された協力員の代表で組織)				
苦勞した点	高齢者のサロン参加(外出支援)を地域全体に広げるため、各自治会組織の協力員の組織化と地域リーダーの養成。				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>中学校全校生徒参加の大合唱</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>運推担当で健康体操</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>小学生児童とのふれあい</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>保育所園児も毎年参加</p> </div> </div>				


番号	51	団体名	一般社団法人下蒲刈まちづくり協議会	代表者	理事長 渡辺 哲宏
事業名	第1回とびしマーレ			事業費	421千円
事業の目的	観光振興・地域PRを目的に、会場に設置する石窯で焼くピザを中心に交流の場をつくり、地元製品のPRも併せておこなう。				
事業概要	<p>日時:平成27年9月27日(日) 9:00~13:00          会場:下蒲刈町大津泊庭園          内容:地元の製品を使用したピザの販売など</p> <p>(1)ふるさと製品の販売          ①島ピザ(地元の甘夏・タコ等を使用した石窯で焼くピザ)          ②太刀魚ドッグ(とびしま海道名産の太刀魚を使用したホットドッグ)          ③みかん味噌(地元のみかんを配合した味噌)</p> <p>(2)しもかま染め体験(地元のレモン・クルミ等の枝葉を使った草木染め)          (3)国際交流(地域おこし活動の視察で訪れているモルディブ人との交流)</p>				
この事業を企画・実施した人	企画:地域おこし協力隊員 実施:地域おこし協力隊員、ボランティア、協議会メンバー				
苦勞した点	多くの人が交流できる場所の選定に苦勞した結果、町内グランドゴルフ大会開催時に会場に隣接して実施することとした。 移動式石窯でピザを焼くのは熟練を要するため、ピザ焼きの担い手を養成する必要がある。				
活動状況	   				



番号	52	団体名	呉市川尻町まちづくり委員会	代表者	隠村 誠二
事業名	いいところいっぱいじゃけえ かわじりMAPウォーク			事業費	17千円
事業の目的	平成25年度に『“かわじり”の新しいマップを作ろう！！プロジェクト』で作成した『いいところいっぱいじゃけえ かわじりMAP』を全戸配布するだけでなく、川尻町運動普及推進委員会と協働し、MAPのコースを歩く『かわじりMAPウォーク』を開催していく(年2回程度)				
事業概要	<p>【平成27年度】</p> <p>6月14日(日) 合格祈願ロードコースを歩こう 【参加者】…91名</p> <p>10月11日(日) 縁結びめぐりストーリーコースを歩こう 【参加者】…75名</p>				
この事業を企画・実施した人	呉市川尻町まちづくり委員会, 川尻地区自治会連合会, 川尻町運動普及推進委員会, 川尻保健出張所, 川尻中学校, 参加者の方々				
苦勞した点	関係団体との連絡調整				
活動状況					

番号	53	団体名	川尻町新成人を祝う会実行委員会	代表者	原田 邦子																	
事業名	川尻町新成人を祝う会			事業費	約338千円																	
事業の目的	<p>新成人が企画・運営を担い始めて6年目となる「実行委員会」の活動は、「地域全体で祝う」新成人を祝う会の開催に向けて、中学生から地域の方々まで世代を超えて開催を支えている。</p> <p>【実行委員会の主な活動内容】 ①懇親会の企画立案 ②当日運営(新成人受付・式典司会・懇親会の司会運営)</p>																					
事業概要	<p>【実行委員会】 平成27年7月から活動開始</p> <table border="1"> <tr> <td>①7/30(木)</td> <td>顔合わせ・昨年の様子・企画アイデア 対象者確認</td> </tr> <tr> <td>②11/16(月)</td> <td>企画絞り込み・役割分担</td> </tr> <tr> <td>1/7(木)</td> <td>中学生ボランティアへ説明</td> </tr> <tr> <td>1/9(土)</td> <td>リハーサル(司会・懇親会) (詳細確認・企画準備等)</td> </tr> </table>		①7/30(木)	顔合わせ・昨年の様子・企画アイデア 対象者確認	②11/16(月)	企画絞り込み・役割分担	1/7(木)	中学生ボランティアへ説明	1/9(土)	リハーサル(司会・懇親会) (詳細確認・企画準備等)	<p>【当日】</p> <table border="1"> <tr> <td>日時</td> <td>平成28年1月10日(日)10:00~13:00 打合せ・準備・リハ9:30~ 後片付け~14:00</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>呉市川尻まちづくりセンター</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">内容</td> <td>受付(新成人受付・来賓受付) 記念撮影(平台片付け・式典準備)</td> </tr> <tr> <td>式典(司会・はたちの誓い)</td> </tr> <tr> <td>懇親会(司会・運営)</td> </tr> <tr> <td>恩師エピソード披露・抽選会・中学生からの祝辞</td> </tr> </table> <p>※太字は実行委員会・中学生ボランティア担当</p>			日時	平成28年1月10日(日)10:00~13:00 打合せ・準備・リハ9:30~ 後片付け~14:00	場所	呉市川尻まちづくりセンター	内容	受付(新成人受付・来賓受付) 記念撮影(平台片付け・式典準備)	式典(司会・はたちの誓い)	懇親会(司会・運営)	恩師エピソード披露・抽選会・中学生からの祝辞
①7/30(木)	顔合わせ・昨年の様子・企画アイデア 対象者確認																					
②11/16(月)	企画絞り込み・役割分担																					
1/7(木)	中学生ボランティアへ説明																					
1/9(土)	リハーサル(司会・懇親会) (詳細確認・企画準備等)																					
日時	平成28年1月10日(日)10:00~13:00 打合せ・準備・リハ9:30~ 後片付け~14:00																					
場所	呉市川尻まちづくりセンター																					
内容	受付(新成人受付・来賓受付) 記念撮影(平台片付け・式典準備)																					
	式典(司会・はたちの誓い)																					
	懇親会(司会・運営)																					
	恩師エピソード披露・抽選会・中学生からの祝辞																					
この事業を企画・実施した人	<p>実行委員会(成人者5人・次年度成人者4人・保護者5人・地区社協(主催者)1人・川尻支所(サポート役)2人)・川尻町女性会・広交通安全協会母の会川尻支部・警察・川尻中学校・川尻町地区社会福祉協議会</p>																					
苦勞した点	<p>①<b>実行委員の募集</b>・・・地区広報誌「川尻かがやき」で実行委員の募集を行っている。当時の中学校生徒会役員に声かけをして、成人代表として活動している。将来の実行委員会の活動につなげるために、平成25年度からは中学生ボランティアと一緒に活動してもらっている。</p> <p>②<b>次年度成人者の参加</b>・・・次年度・当該年度・前年度の3学年の成人世代が関わることを目標として活動している。今年度も、会議や当日運営に次年度成人者4人が加わり、受付や式典準備などの裏方に携わったことで、来年度の実行委員会活動のきっかけをつくることができた。</p> <p>③<b>中学生ボランティア</b>・・・生徒会役員8名が参加。裏方として受付や式典準備、片付けなど積極的に活動し、懇親会においても、舞台の準備、片付けを手伝い、お祝いの言葉を贈った。</p>																					
活動状況	<table border="0"> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実行委員による新成人受付</td> <td>来賓受付(中学生ボランティア)</td> <td>女性会のみなさんのおもてなし</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>式典司会</td> <td>懇親会の目玉 抽選会</td> <td>中学生からお祝いの言葉</td> </tr> </table>								実行委員による新成人受付	来賓受付(中学生ボランティア)	女性会のみなさんのおもてなし				式典司会	懇親会の目玉 抽選会	中学生からお祝いの言葉					
																						
実行委員による新成人受付	来賓受付(中学生ボランティア)	女性会のみなさんのおもてなし																				
																						
式典司会	懇親会の目玉 抽選会	中学生からお祝いの言葉																				



番号	54	団体名	川尻町地区社会福祉協議会	代表者	隠村誠二
事業名	川尻町敬老会			事業費	1,281千円
事業の目的	<p>川尻地区まちづくり計画(平成21年8月呉市川尻町まちづくり委員会発行)の「高齢者の長寿を地域全体で祝う」を目標に、各種団体との協働の幅を少しずつ増やしながら、敬老者に喜んでいただける敬老会を開催できるよう活動している。</p> <p>【H21年度～】敬老会打合せ開催・リハーサル協力依頼(運営協力団体・主催者)          なお、当初から司会、交通整理や運営協力(主催者含む)との協働も継続中。</p>				
事業概要	<p><b>【敬老会打合せ】平成27年8月19日(水)18時～19時(参加者:8人)</b>          各協力団体の役割分担の確認と当日の流れを確認。</p> <p><b>【リハーサル・準備】平成27年9月17日(木)・18日(金)</b>          リハーサルでは、司会を担当する朗読ボランティア ハートフルの方が、アトラクション出演者と打合せをしながら、直前までシナリオを練ったり、裏方を担当する主催者は舞台転換の確認を行い、本番に備えた。</p> <p><b>【敬老会当日】平成27年9月19日(土) 9時～12時(敬老者:1,369人)</b>          場 所 呉市川尻まちづくりセンター(ベイノロホール)          内 容 <b>【第1部】式典(司会:朗読ボランティア ハートフル)</b>  <b>【第2部】アトラクション(司会:朗読ボランティア ハートフル)</b>          ①合唱(川尻光幼稚園) ②太鼓演奏(川尻保育所)          ③合唱(川尻小学校4年生) ④神楽(伊賀和志神楽団「塵倫(じんりん)」)</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>川尻町地区社会福祉協議会  <b>【協力団体】</b>ボランティアさざなみ、呉市第23区民生委員児童委員協議会、広交通安全協会          川尻支部、同母の会、川尻地区老人クラブ連合会  <b>【アトラクション】</b>川尻光幼稚園、川尻保育所、川尻小学校、伊賀和志神楽団  <b>【司会】</b>朗読ボランティア ハートフル</p>				
苦勞した点	<p>敬老者に喜んでいただくために、記念品やアトラクションの内容について3月～6月にかけて正副会長会議でアイデアを持ち寄り、協議した。          平成20年度から取り入れた「打合せ」や「リハーサルからの協力依頼」は継続していることで、定着しつつある。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>記念品配布</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>米寿表彰</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>受付</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>ご来場の方々</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>舞台転換</p> </div> </div>				






番号	55	団体名	川尻町元気まつり実行委員会	代表者	綿野成泰
事業名	かわじり元気まつり			事業費	2,251千円
事業の目的	<p>川尻町元気まつり実行委員会主催</p> <p>2000年に安芸灘大橋有料道路が開通したことをきっかけに、川尻町内外に「かわじり」をアピールして、川尻町の魅力をさらに向上させたり、活性化につなげるために始まった元気まつりは、毎年11月の第3日曜日の開催が定着し、毎年約5,000人で賑わう。開催までに、実行委員会(2回)や企画部会(5回)、バザー部会を重ね、各種団体をはじめ多くの関係者が一丸となって準備を行う。中学生も前日の準備や当日運営にボランティアとして加わり、共に、まつりを支えている。</p>				
事業概要	<p>「みんなが集い みんなで創り みんなが楽しむ！」</p> <p>日時 平成27年11月15日(日)9時～15時30分</p> <p>場所 川尻グラウンド</p> <p>【オープニング】野呂岩海太鼓(野呂岩海太鼓保存会)</p> <p>【メインステージ】筆のパフォーマンス(広高校書道部)・麻倉未稀ポップスライブ ジャズバンド(川尻中学校吹奏楽部)・野呂太鼓(川尻小学校6年生) ちびっこマンボのおまつりだ！(川尻保育所)・元気いっぱいいます！(川尻光幼稚園)・農産物品評会・ギネスに挑戦!? ラムネ早飲み大会・ラッキーナンバーゲーム 等</p> <p>【わくわくイベント】ミニSL・スカイビュー</p> <p>【食の元気市】焼きいりこやイノシシの串焼きなど広域8町の特産品を楽しむ</p>				
この事業を企画・実施した人	川尻町元気まつり実行委員会・川尻町まちづくり委員会・川尻町地区社会福祉協議会・協賛企業				
苦勞した点	今年前日の準備の途中で雨が降り始め、降ったり止んだりの繰り返しだったので、予定どおりの準備ができなく、企画部会のメンバーも当日早朝より照明を付けての準備となった。また、後片付けもシート等が乾かず、当日には終わらなかった。				
活動状況					



番号	56	団体名	音戸町まちづくり協議会	代表者	新谷 勝利
事業名	2015おんどフェスティバル			事業費	2,850,000円
事業の目的	<p>自然に親しみながら、研修、体力づくり等を行うとともに町民相互のふれあいの場、文化、体育活動の中心として、幅広く活用する目的で“マリンふれあいの里大浦崎公園”(現在の名称は大浦崎スポーツセンター)が昭和60年度に完成しました。</p> <p>この公園の完成を契機として、上記に掲げる当該公園の整備目的を達成するために当事業が開催されることとなり、今年度で30回目を数えております。</p>				
事業概要	<p>毎年、町内外から5,000人を超える来場者があり音戸町で一番大きなイベントです！</p> <p>日時：平成27年11月8日(日) 9時30分～15時</p> <p>場所：大浦崎スポーツセンター</p> <p>内容：○第30回記念企画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・元広島東洋カープ選手 高橋建・横山竜士氏来場</li> <li>・高校生ダンスコンテスト【市内の高校生又はグループで参加(5チーム)】</li> <li>・ちびっ子フェスティバル(バルーンアート・腕相撲・輪投げ・ビンゴなど)</li> <li>・健康づくりコーナー(健康づくり推進協議会が実施)</li> </ul> <p>○会場企画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・27店舗による飲食物の出店</li> <li>・消防車両展示・救急体験コーナー、白バイ等体験搭乗</li> <li>・音戸高校カヌー部によるカヌー体験教室</li> </ul>				
この事業を企画・実施した人	<p>まちづくり協議会の役員及び事務局が中心となって企画立案し、自治会、女性会、老人クラブ、民生児童委員、PTA、商工会等、各種団体(まちづくり協議会の構成員)の協力により、準備から運営、片付けまでを行い、地域協働で実施しています。</p> <p>また、音戸高校ボランティアの協力も、会場内の清掃、出演、出店と大きな役割を担っています。</p>				
苦勞した点	<p>・より多くの人に参加でき楽しんでもらうための企画、催し物の考案</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>元東洋カープ選手との記念撮影</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>呉市消防団 はしご隊演技</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>カヌー体験乗船</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>音戸清盛太鼓</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>会場の様子</p> </div> </div>				

番号	57	団体名	音戸町まちづくり協議会	代表者	新谷 勝利
事業名	トワイライトふれあいフェスタ			事業費	960,000円
事業の目的	<p>人口減少、特に少子高齢化の進展及び多岐にわたるレジャー施設等の進出により、音戸町において、子供と大人が楽しくふれあうことができる交流の場が減少しております。</p> <p>また、地域の核となる音戸市民センターは、新旧音戸大橋を背後に音戸の瀬戸を一望できる絶好のロケーションと広い前庭、ウッドデッキテラスを有する独特の建築構造となっております。</p> <p>このような負と正の現状を踏まえ、地域の皆さんとの協働により、交流と賑わいの場を創造する目的で、毎年1回、1,000人以上の来場者により実施しております。</p>				
事業概要	<p>海辺の潮風を受けながら、ビアガーデン風の出店、ステージでの催し物があります！</p> <p>日時：平成27年7月25日（土） 17時30分～20時</p> <p>場所：音戸市民センター（前庭・2階テラス）</p> <p>内容：○ステージ企画（簡易ステージ製作） 音戸清盛太鼓、キッズダンス、ハワイアン、フラダンス、ジャズバンド</p> <p>○出店 生ビール、缶酎ハイ、お酒、清涼飲料水、お茶 フライドポテト、鶏の唐揚げ、タコ天、豚カツ、焼き肉、焼き鳥、焼きそば、焼きイカ 巻き寿司、炊き込みご飯 フランクフルト、綿菓子、ポップコーン、かき氷 スーパーボールすくい、ヨーヨー釣り</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>まちづくり協議会の役員及び事務局が中心となって企画立案し、自治会、女性会、老人クラブ、民生児童委員、PTA、商工会等、各種団体（まちづくり協議会の構成員）の協力により、準備から運営、片付けまでを行い、地域協働で実施しています。</p>				
苦勞した点	<p>より多くの人に参加でき楽しんでもらうための企画、催し物の考案（新鮮なアイデア）</p>				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>ステージ企画</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>賑わいの様子</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div>				



番号	58	団体名	宝島くらはしまちづくり協議会 お宝婚活部会	代表者	松村 慶介
事業名	第4回島コンin倉橋(広島県最南端で見つける恋)			事業費	370,000円
事業の目的	人口減少や少子高齢化の一因とされる未婚者の増加に歯止めをかけるために、地元の未婚男女に出会いの場を創出する。				
事業概要	<p>○日時:平成27年11月1日(日)9時~17時(呉合同庁舎前集合・解散)</p> <p>○場所:倉橋町桂浜周辺</p> <p>○交通手段 大型貸切バスにて往復</p> <p>○内容:男性18名・女性15名,計33名が桂濱神社での良縁祈願,1対1のトークタイム,バーベキュー,フリータイムを通じて交流し,11組のカップルが誕生した。</p> <p>○参加者負担金:男性5,000円,女性3,000円</p> <p>○参加者居住地内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男性 倉橋町6名,呉市7名,広島市4名,東広島市1名</li> <li>・女性 広島市7名,呉市6名,東広島市1名,江田島市1名</li> </ul> <p>○参加者年代内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男性 20代8名,30代10名</li> <li>・女性 20代6名,30代9名</li> </ul>				
この事業を企画・実施した人	地元で農業・漁業・医療機関等に就業する若者が中心となって企画・立案し,まちづくりサポーターなどのまち協関係者,市職員が協働実施した。				
苦労した点	告白タイムの方法,交通手段や広報・募集方法等				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>桂濱神社での良縁祈願</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>桂浜での散策フリートーク</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>屋食は倉橋の新鮮な魚介類がたくさん</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  <p>会場の様子</p> </div> </div>				

番号	59	団体名	宝島くらはしまちづくり協議会 お宝朝市部会	代表者	木戸 慶治
事業名	くらはし お宝朝市			事業費	150,000円
事業の目的	新鮮で良質な農水産物をはじめとする倉橋町の特産品を販売することで、地元の農業・漁業・商業の振興とともに倉橋町の活性化を図る。				
事業概要	<p>日時: 毎月最終日曜日 9時～11時まで  場所: 倉橋桂浜温泉館 万葉の里  内容: 地元特産品の販売及びお楽しみイベント  (野菜・お宝トマト・石地みかん・鮮魚・ちりめん・牡蛎・豆腐・お花・無添加パン等)  お楽しみイベント: 毎月 お買い物スタンプラリー  6月～8月 かき氷  10月～3月 焼き芋  11月 オープン6周年記念市  12月 餅つき大会</p>				
この事業を企画・実施した人	倉橋産直部会, 倉橋島漁業協同組合, 倉橋西部漁業協同組合, 呉広域商工会女性部などに加盟している団体と地元の特産品販売店が中心となって企画し, 市職員, 市職員OBなどが協働実施しています。				
苦労した点	雨天時の対応や広報の方法, 出店者やボランティアスタッフの確保等				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>朝市販売品</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>餅つき大会</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>6周年記念市</p> </div> </div>				



番号	60	団体名	蒲刈町まちづくり協議会	代表者	会長 原田 福造
事業名	第15回 かまがり恵みフェア			事業費	1,024,539
事業の目的	蒲刈町の観光資源を広く紹介し観光客の誘致に努め、観光事業、各種産業の発展に寄与することを目的とする。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広場において町内外から特産品などの販売するブースを開設した。出店件数は18店舗。</li> <li>・「潮騒の館」「恵みの館」「輝きの館」の3館を廻りスタンプを集めメイン会場の県民の浜の抽選会場で抽選を行うと豪華賞品が当たるスタンプラリーを開催した。</li> <li>・イベントコーナーにおいては、蒲刈太鼓、舞踊、ピエロの愉快的なパルーション、向青年会の神楽「ダイバ問答縁起」などを披露した。また広場において駒廻し、凧揚げコーナー、動物ふれあいコーナーを実施した。</li> <li>・B&amp;G海洋センターにおいて蒲刈地区社会福祉協議会主催による健康福祉祭りも同時開催した。</li> </ul>				
この事業を企画・実施した人	蒲刈町まちづくり協議会のメンバー				
苦勞した点					
活動状況	 <p>舞台から</p>		 <p>動物ふれあいコーナー</p>		
	 <p>キャンデー&amp;クッキー</p>		 <p>蒲刈食生活推進協議会</p>		



番号	61	団体名	安浦町まちづくり協議会	代表者	会長 田中 敏弘
事業名	安浦新ええとこ祭り			事業費	300千円(合併地域振興補助金)
事業の目的	<p>「安浦夏まつり」と「安浦ええとこ祭り」は30年以上親しまれてきたが、資金と人員面の課題について関係者による協議を重ねた結果、発展的に終了として、新たに「実行委員会」を立ち上げ、「新ええとこ祭り」を開催する。安浦の良き伝統を継承し、会場を町内の中心に立地する「まちづくりセンター」に移し、ホール・体育館といった施設も全館活用して、より住民主体・参加型の手作り感のある祭りにリニューアルしていく。</p>				
事業概要	<p>初開催の今年度は、「ひとつになろう安浦」を掲げて17団体が結束。「安心・安全と健康づくり」をテーマに6つのブースにおいてイベントを開催。従来の商工振興テント・野外ステージ、農業振興テント・品評会、健康・食のイベントに加えて、「防災体験」として移動かまどや両面バーナーによる炊き出しや毛布タンカ・煙中体験・防災ダックなどを開催。</p> <p>「まちづくり協議会」は、実行委員会における企画立案を担いながら、「呉線フォトコンテスト」を出展。祭りの結びでは、「女性会」の先導に追従して、「きらめく安浦」をスタッフ・来場者で踊り一体感を成し来年度のさらなる充実開催を誓った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日時:平成27年11月15日(日)9時～15時30分</li> <li>・総事業費:500万円(まちづくり協議会助成金300万円, 地元協賛金150万円, 繰越金45万円)</li> <li>・来場者数:約3,000人</li> </ul>				
この事業を企画・実施した人	<p>安浦町自治連渡邊会長を実行委員長とし、田中会長は副委員長に就任。正副委員長及び事務局職員(安浦市民センター、呉広域商工会安浦支所)による企画立案会議を重ね、まちづくりサポーター3名を中心とした「事業企画部会」メンバーは、呉線フォトコン、広報紙「TANTO」による広報など、参画・サポートした。</p>				
苦労した点	<p>初めて、まちづくりセンターの全施設を会場に、中学校グラウンドを来場者駐車場に使用したため、レイアウトにおいて相応の保守管理上の制約があった。17団体による出展・各種イベントが6つのブースで闊達に開催できたことは好評であったが、プログラムの円滑な進行・広報や、運営特性の異なる各種団体の相互理解を培っていく必要があった。まさに今後も主目的と位置付けている。</p>				
活動状況	 <p>新ええとこまつりオープニング</p>		 <p>会場の皆で踊った「きらめく安浦」</p>		
	 <p>自治連による防災炊き出し</p>		 <p>防災体験コーナーで毛布タンカの実演</p>		



番号	62	団体名	安浦町まちづくり協議会	代表者	会長 田中 敏弘
事業名	後生に残す「まちしるべ石碑」事業			事業費	580,000円
事業の目的	<p>安浦は、江戸時代から明治にかけて内海・三津口・野路・安登の4地区が合併等を重ね、10ヶ村が一つの町になった歴史がある。それぞれの地域には古い地名や史跡・伝説・伝統行事等文化的な資源が多いが、現在忘れ去られようとしている。これらを石碑に刻み、後生に伝えるとともに、郷土の愛着と地名の由来や歴史・文化を知ってもらうことを目的とする。</p>				
事業概要	<p>平成24年度から事業開始し、初年度は安登地区の6本を設置、平成25年度は野路地区10本(10自治会区)を設置、26年度は三津口地区5本及び安登地区(市迫)1本を設置、27年度は内海地区1本を設置した。なお、内海地区は記せない字・小字が多かったため、石柱の隣に字・小字図を設置して補う予定である。</p> <p>碑文作成にあたり、設置予定地域の歴史探訪を行い、研修後、地域の自治会長とまち協メンバーが碑文を製作。設置場所は、地域の中心地や神社・公共施設を主に選定し、老若男女が参加する記念事業として実施する。</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>先進地として「阿賀まちづくり協議会」へ研修に行き、当事業企画部会が実行する。まちづくり協議会の事業企画部(看板・マップ分科会)と事務局が中心となり企画を行った。</p>				
苦労した点	<p>碑文の作成において、限られた文字数の中でいかに地域の特色等を伝えるか、町史などの文献調査や優先順位を決めて伝える文言をまとめる点に相当の時間を要し、メンバー間で念な協議を重ねた。</p> <p>とりわけ、内海地区は、広範囲な中に小字が介在しているため、他地区同様に自治会毎に設置すると碑文の量に偏りが出たり、設置場所の確保も困難な実情もあり、地区全体でまとめて、他地区よりかなり大きい石柱を1カ所に1本設置することとした。碑文は地区全体をとらえて優先順位を検討していく中で、各自治会のバランスを考慮・調整していくことが最も苦労した点であった。しかし、メンバーが学習・協議を重ねていくうちに、真に地区全体として伝え・残さなくてはならないものを再認識・自覚する場となっていくことは、人材育成の視点から意義深いものになった。</p>				
活動状況	 <p>石碑を設置する場所を整地する</p>		 <p>石碑を据える台座の自然石を据え</p>		
	 <p>基礎工事のためコンクリートを練る</p>		 <p>石碑を載せて固定。完成した</p>		

番号	63	団体名	呉線全通記念事業安川実行委員会 (安浦町まちづくり協議会,川尻町まちづくり委員会)	代表者	田中敏弘
事業名	アイラブ呉線「鉄道のある風景」フォトコンテスト			事業費	500千円(内ゆめ創造事業300千円)
事業の目的	平成27年秋、呉線は全線開通80年、電化45年の記念の年を迎えた。 安浦・川尻のまちづくり協議会・委員会は、この機を捉え、合同でフォトコンテストなどを計画。事業を実施する中で、両地域の魅力発信を行い、住民の地域に対する愛着心を醸成し、両まちづくり団体の相互の交流促進を図ることを目的とした。				
事業概要	事業費は、呉市市民ゆめ創造事業交付金(地域間連携推進事業枠)30万円、両町観光協会等補助金20万円など計50万円を財源とした。 委員会を立上げ、5～9月で、なつかしの呉線とアイラブ呉線(今の鉄道風景)の2部門の写真を募集、ホームページで投稿写真枠を設けた。200点(なつかし部門50、アイラブ部門150)の作品が集まり、10月20日審査を行った。入賞作品は、11月15日両町の「まつり」で小中学校から集まった絵画とともに発表した。また11月の呉線全線開通記念式に合わせ、呉中央棧橋ロビーで3日間写真展を開催するとともに、21日に表彰式を行った。 また、応募者全員の作品をまとめた写真集を作成し、応募者と関係機関、団体に配布した。				
この事業を企画・実施した人	安浦・川尻両町のまちづくり協議会・委員会の役員を中心に(まちづくりサポーター、観光協会会長などを含む)全10人で実行委員会を組織し、作業を進めていった。 両町の「まつり」で展示することは、それぞれのまつり実行委員会と、また、呉中央棧橋での写真展や表彰式を実施するについては交通政策課と調整しながら実施した。				
苦労した点	どれだけ作品が集まるか不安で、再三新聞社に広報を依頼した。ホームページで投稿写真コーナーを設けるなど工夫し、200点が集まった。一方、集まった写真の選考は、専門家が少ない中で行われ、段取りに苦労した。 この事業を通して、地域の魅力を再発見し両まちづくり団体の交流を図るという目的は、達成されたと感じている。特に、応募作を多数掲載した写真集は、実行委員会、応募者だけでなく、呉線の魅力を見直す契機になると多くの関係者にも喜ばれた。経費などの問題があり、最初製作することが困難な状況にあったが、印刷会社の適切なアドバイスにより完成させることができた。				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 33%; text-align: center;"> <p>チラシ,ポスター</p>  </div> <div style="width: 33%; text-align: center;"> <p>両町での展示</p>  </div> <div style="width: 33%; text-align: center;"> <p>安浦新ええとこ祭り</p>  </div> <div style="width: 33%; text-align: center;"> <p>かわじり元気まつり</p>  </div> <div style="width: 33%; text-align: center;"> <p>呉中央棧橋会場</p>  </div> <div style="width: 33%; text-align: center;"> <p>写真集</p>  </div> </div>				
	各部門最優秀作品		表彰式		
	 <p>最優秀賞 東広島市黒瀬町 梶谷 浩さん 『呉線らしさ』 撮影場所：安浦～志保</p>		 <p>最優秀賞 三原市東町 岸本 博司さん 『家風』 撮影場所：安芸川尻～安藝(昭和42年頃)</p>		
					



番号	64	団体名	豊浜町まちづくり協議会	代表者	伊藤 圭一
事業名	伝統的料理の教室			事業費	90,000円
事業の目的	<p>高齢化の進行に伴い、冠婚葬祭等での料理も手作りすることが難しく、仕出しを取るようになり、豊浜町の食材を使った伝統的な料理も作られなくなってきました。このため、豊浜町の伝統的な料理(食文化)が消えていくのではという危機感から、これらを記録し、後生に残すこととしました。</p>				
事業概要	<p>豊浜町内の各地区に残る伝統的な料理について平成26年度は実際に地元の方に料理をしてもらい、作り方を記録しレシピ本を作成しました。  今年度は、料理を次の世代に継承していくため、豊浜中学校の3年生及び2年生を対象に伝統的料理教室を開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事業の進め方について協議(6月)</li> <li>○ 学校との打合せ(7月・11月)</li> <li>○ 伝統的料理教室の実施(8月・12月)</li> </ul>				
この事業を企画・実施した人	豊浜町まちづくり協議会のワーキンググループのメンバー				
苦勞した点	決められた時間内で料理をつくり、試食をしなければならないので、時間的に余裕がなかった。				
活動状況	<p>今回の調査で再現した料理(一部)  第1回 伝統料理教室(たこ飯, ソーメン瓜とキュウリの酢の物, 漁師うどん)</p>  <p>第2回 伝統料理教室(押し寿司, 鯛ソーメン, しば餅)</p> 				

番号	65	団体名	豊浜町まちづくり協議会	代表者	伊藤 圭一
事業名	ビューティフルアイランド祭り			事業費	1,917,000円
事業の目的	健康でいきいきと暮らすことができる健康づくりや世代間交流を目的として、子供から高齢者までが気軽に参加できる「ウォーキング大会」を中心に開催します。 町外の方にもウォーキング大会への参加を呼びかけ、祭りに来場していただくことで豊浜町の良さ(島の香り・味・自然)のPRを行うことを目的とする。				
事業概要	<p>各種団体の協力のもと、以下の6つの柱を組み合わせた笑顔あふれるイベントを実施します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 体力づくり</li> <li>2. 生活環境づくり</li> <li>3. 安全・安心づくり(防犯・防災コーナー)</li> <li>4. 健康づくり(体力測定・健康チェック)</li> <li>5. 人づくり(交流・豊浜のPR)</li> <li>6. 文化活動づくり(作品展示・ステージイベント)</li> </ol> <p>○事業の進め方について協議(7月・9月) ○ビューティフルアイランド祭り実施日(10月)</p>				
この事業を企画・実施した人	豊浜町まちづくり協議会のメンバー				
苦労した点	毎年天候に左右されること				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;"> <p>ウォーキング大会</p>  </div> <div style="width: 50%;"> <p>プランターコンテスト</p>  </div> <div style="width: 50%;"> <p>露店</p>  </div> <div style="width: 50%;"> <p>防犯コーナー</p>  </div> <div style="width: 50%;"> <p>イベント</p> <p>ビューティフル アイランド祭り</p>  </div> <div style="width: 50%;"> <p>健康体操</p>  </div> </div>				



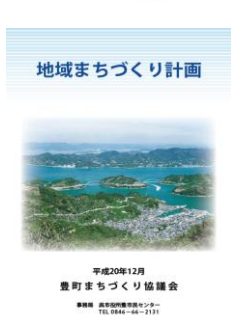
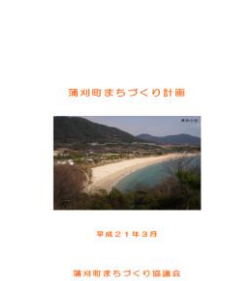
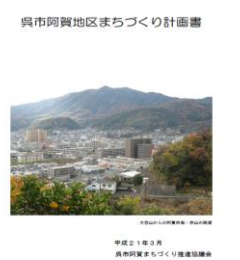
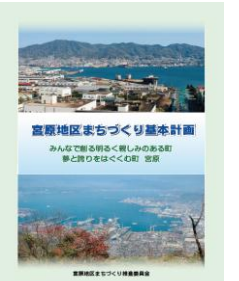
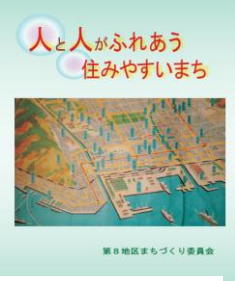
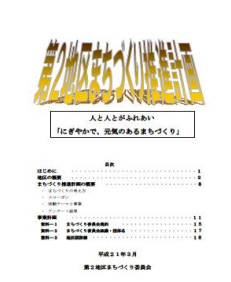
番号	66	団体名	豊町まちづくり協議会	代表者	大道 洋三
事業名	第11回 豊町産業文化祭			事業費	450,000円(負担金)
事業の目的	豊町まちづくり協議会策定「まちづくり計画」の振興方針「にぎわいと活力ある「ゆたかまち」をつくろう」に基づいて、産業(果実品評会やバザー)と文化(舞踊、歌謡などの発表会)の祭りを実施する。				
事業概要	<p>テーマ:瀬戸内の魅力発信・豊町 おもてなしの ゆたかまち！</p> <p>日時:平成28年2月6日・7日</p> <p>場所:安芸灘交流館(豊まちづくりセンター)</p> <p>①開会式、太鼓演奏、もちまき</p> <p>②産業部門 果実品評会、晩柑類の展示会、健康祭り、輪投げ大会、もちつき、米すくい、射的大会、ビンゴゲーム、大抽選会、焼ガキむきカキ・唐揚げ・うどん・炊き込みご飯・寿司・いぎす豆腐・たこやき・やきそば・みかん味噌・みかん餅・別製アイス・クレープ・じゃこ天・礼文島海産物等販売。農業機械・人形・印鑑の展示販売。</p> <p>③文化部門 謡曲・フラダンス・箏曲・舞踊・カラオケ・舞踊・ジャズダンス・バレエ・コーラスの発表会 「女性二人組マジシャンWISH&lt;ウイッシュ&gt;によるイリュージョンマジック」 絵画・押し花・写真・生け花・俳句・墨絵、豊小・豊浜中学校・ゆたか幼稚園・ゆたか保育所作品展。</p>				
この事業を企画・実施した人	豊町まちづくり協議会、豊町地区社会福祉協議会、豊町産業文化祭実行委員会が主催であるが、特に、呉広域商工会青年部安芸灘支部豊地区の会員、文化協会の各種団体、豊市民センターが中心となって実施した。				
苦労した点	昨年同様に会場の周辺が非常に狭く来訪者の駐車場の確保に苦慮した。今年も晴天で迎えた初日は、大勢の人が参加して華々しく開会式をすることが出来た。人口減少で来訪者が若干減ったように思われたが、実行委員会、出展者・参加者の連携・協力により無事に2日間の祭りを実施することができた。				
活動状況	 <p>開会式での餅まき大会</p>		 <p>果実品評会</p>		
	 <p>ホールでの発表会</p>		 <p>展示販売状況</p>		

番号	67	団体名	豊町まちづくり協議会	代表者	大道 洋三
事業名	豊町七夕納涼祭			事業費	2,400,000円(負担金)
事業の目的	豊町まちづくり協議会策定「まちづくり計画」の振興方針「にぎわいと活力ある「ゆたかまち」をつくろう」に基づいて、ステージイベントや花火大会を実施する。				
事業概要	<p>日時:平成27年8月1日(土) 18:15~21:00  場所:小長港フェリーターミナル前広場他  参加者数:約4,000名  内容:  「ダンス&amp;フィットネススタジオG1」によるダンスショー  「D'sFACTORY」バンドライブ  「亀ひろし ものまね・お笑い・マジック」ステージ  小長港の沖合いに台船を浮かべ、約2,000発の海上花火大会を実施</p>				
この事業を企画・実施した人	豊町まちづくり協議会、豊町地区社会福祉協議会、豊町産業文化祭実行委員会が主催であるが、特に、呉広域商工会青年部安芸灘支部豊地区の会員や呉広域商工会豊支所が中心となって実施した。				
苦労した点	<p>この大会は地元の商工会加盟店や各種団体・個人に協賛金として約150万円集めて実施している(残りはまちづくり協議会からの助成金)。そのため集金活動が非常に大変である。  また、実施のための事務手続きや会場準備等に商工会青年部、事務局を中心に実施しているが、メンバーの減少等により大会実施に苦労している。  イベントは、豊地区外からも来客されるので、下蒲刈・蒲刈・豊浜地区等の団体や個人にも協賛金をお願いしている。また、これら地区外からのお客様の駐車場確保は大きな課題となっている。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">ステージイベント</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">花火大会</p>				



番号	68	団体名	豊町まちづくり協議会	代表者	大道 洋三
事業名	豊町町民運動会			事業費	100,000円(負担金)
事業の目的	豊町まちづくり協議会策定「まちづくり計画」の振興方針「人々がふれあう「ゆたかまち」をつくろう」に基づいて、地区別対抗戦による町民運動会を実施する。				
事業概要	<p>日時:平成27年6月14日(日)</p> <p>場所:豊小学校グラウンド</p> <p>内容:9地区に分かれて競技する。満水競争、リレー、タル転がし、玉入れ等の競技がある。</p> <p>参加人数:約1,000人</p>				
この事業を企画・実施した人	豊町地区社会福祉協議会、豊町体育協会、豊市民センターが中心となって実施した。				
苦勞した点	住民の高齢化に対応するため、種目での距離等の変更するなど、また、毎年選手集めが大変であるが、地域コミュニティ醸成には欠かせない豊地区の伝統行事である。				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>選手入場</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>選手宣誓</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>小学生リレー</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>百発百中</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>地区対抗リレー</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>閉会式</p> </div> </div>				

# (参考) 地域まちづくり計画



地域の共有する夢（地域の将来像，地域課題の克服等）の実現に向け、おおむね5～10年間で取り組むべき地域の構想で、地域住民の総意に基づいて住民自身（まちづくり委員会）が策定したものです。この計画に基づき、地域自らが主体となったまちづくりが進められています。





ゆめづくり事例集2015

発行：平成28(2016)年2月

編集：呉市市民部地域協働課  
各市民センター